

GMAT

Gunma Museum of Art,  
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

群馬県立館林美術館年報 令和4年度

# Annual Report

2022.4-2023.3

# 目次

新型コロナウイルスの美術館への影響	3
-------------------	---

## 展覧会

A. 展覧会一覧	4
B. 企画展示記録	5
C. コレクション展示記録	41
D. 彫刻家のアトリエ(別館)展示記録	46
E. 入館者数一覧	47

## 教育普及

A. 講演会	48
B. 作品解説会・キッズウォーク・ポンポンツアー	49
C. ワークショップ	51
D. 創作体験コーナー みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」	51
E. たてび☆びじゅつ部	52
F. その他	53
G. 他団体への協力	53
H. 学校連携その他	54
I. 地域に開かれた美術館づくり	60
J. 刊行物	62
K. ボランティア	62
L. 友の会(群馬県立館林美術館友の会)	63
M. その他	63

## 所蔵資料

A. 美術作品	64
B. 図書資料その他	73

## 施設利用状況

A. 施設利用一覧	74
B. その他	74

職員名簿	75
------	----

## 新型コロナウイルスの美術館への影響

令和4年度中、新型コロナウイルス感染症第7波が7月～10月に、第8波が11月～令和5年3月に発生したが、当館は臨時休館することなく予定どおり展覧会全会期を開館することができた。

前年度に引き続き、年度当初から主な感染症対策として、マスク着用、非接触型体温計による体温測定、健康状態申告書の提出、2時間ごとに1回程度の椅子等の消毒実施、館内左側通行、結界・導線マーク設置、団体利用は入館者の上限人数を勘案のうえ受入実施、入館時の手指消毒の徹底、ゴミ箱撤去を継続した。キッズ・コーナー閉鎖、外気取入れによる環境管理も継続した。

5月31日に、警戒度引き下げに伴い、県主催イベント等実施ガイドラインが改正された。これに従い、6月1日以降は健康状態申告書の提出は廃止となり、マスク着用については、身体的距離がとれて会話をほとんど行わない場合は着用の必要はないことを来館者に周知した（職員はマスク着用を継続）。

展示室内では、秋の企画展示「かこさとし」、特集展示「フランソワ・ポンポン」において、本を手にとって読めるコーナーを、ウェットティッシュとゴミ箱設置の感染症対策をした上で設け、展示室内の図録の見本設置も復活させた。

展覧会関係イベントについては、人数制限を継続、講演会やワークショップはメールによる事前申込を行った。募集定員について、講堂での講演会は元々の定員130名から50名程度に減らし、ワークショップ室におけるワークショップは1組4名以内で18組まで（同時間6組を上限とする）とした。開催場所について、展示室内での作品解説やアーティスト・トークは講堂または研修室での開催を継続した。

館内では、令和5年1月28日からの企画展示「山中現展」展から館内導線表示を廃止した。3月4日に、県の「ポストコロナロードマップ」（5類緩和に向けた群馬版緩和モデル）が発表され、3月13日には厚生労働省のマスク着用の考え方の見直しが公表されたことに伴い、マスク着用は個人の判断となる。県文化振興課の考え方により、消毒液、体温計は設置継続（測定は個人判断）となった。また3月4日以降、展示解説やワークショップ等のイベントは、定員数100%で実施可能となったが、展覧会会期中の変更は難しいため、「山中現展」でも、人数制限、解説会の会場を講堂で行う形で開催した。

# 展覧会

## A. 展覧会一覧

### 1. 企画展示

展示名	会期	会場	内容
ものがたりの予感	4/23 ～ 6/26	展示室 2 ～ 4	美術作品における「ものがたり」に注目し、イメージとことばの関係や、それにとらわれない作者の自由な発想を見る。コレクションより 200 点以上を紹介した。
生誕 100 年 傑作誕生・佐藤忠良	7/16 ～ 9/19	展示室 2 ～ 4	3 点の代表作《群馬の人》《帽子・夏》、絵本『大きなかぶ』に注目して、彫刻家・佐藤忠良を紹介した巡回展。
かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパン やさんも大集合！	10/8 ～ 12/25	展示室 2 ～ 4	日本を代表する絵本作家・かこさとしの絵本の原画や下絵など作品や資料を 160 点超を展示した巡回展。
山中現展 描かれた詩	1/28 ～ 4/2	展示室 2 ～ 4	前年度に寄贈された、版画家・山中現のコレクション 327 点より約 240 点を初めて紹介した。

### 2. コレクション展示

展示名	会期	会場	内容
近現代の彫刻 I 抽象彫刻を見てみよう	4/23 ～ 6/26	展示室 1	スタン・アンダソン、和南城孝志、森亮太などの近現代の彫刻を展示した。
近現代の彫刻 II 人物の表現・動物の表現	7/16 ～ 9/19	展示室 1	フランソワ・ポンポン、イサム・ノグチ、鶴岡政男、高田博厚などの近現代彫刻を展示した。
特集展示 フランソワ・ポンポン	10/8 ～ 12/25	展示室 1	巡回展からもどったフランソワ・ポンポンのコレクションを特集展示した。
近現代の彫刻 III 触感を想像しながら	1/28 ～ 4/2	展示室 1	フランソワ・ポンポン、ヘンリー・ムーア、森亮太、林茂樹、勅使河原蒼風などの近現代の彫刻を展示した。

## B. 企画展示記録

### 1. ものがたりの予感

会期 令和4年4月23日(土)～6月26日(日)  
会場 展示室2、3、4  
主催 群馬県立館林美術館  
観覧料 一般620(490)円、大高生310(240)円  
( )内は、20名以上の団体割引料金

本展は、当館のコレクションを通じて、美術作品における「ものがたり」に注目し、イメージとことばの関係や、それにとらわれない作者の自由な発想を見るものである。会場では、コレクションより厳選した版画、油彩画、彫刻、フィギュアのような立体など、200点以上を4章に分けて紹介した。

#### 第1章 ものがたりの世界

- (1) 神話と説話
- (2) ものがたりの挿絵
- (3) 詩とことばあそび

#### 第2章 植物とものがたり

#### 第3章 動物とものがたり

#### 第4章 予感されるものがたり

グリムなどのよく知られた童話の挿絵、文字と絵が一体となった本、ものがたりを彩るイギリスの美しい装丁本など、版画と挿絵15シリーズ、本10冊を紹介した。また、岡本健彦や勅使河原蒼風の抽象彫刻、西村盛雄のハスの葉をかたどった立体など、一見してものがたりの表現とは見えないものの、作者の意図や制作の過程にものがたりが息づく作品に注目した。さらに、南桂子、山口晃の絵など、作者の意図はなくとも、ものがたりを想像させるような作品に第4章をあてた。

会期中は講堂で、学芸員による作品解説会、たてび☆びじゅつ部のほか、同時期に別館で開催した演劇公演にちなみ演劇ワークショップ「「ものがたり」の扉をひらく」を開催した。



ジュニアガイド

ポスター

◎出品目録

第1章 ものがたりの世界

1-(1) 神話と説話

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横／ 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵
1	藪内佐斗司	縁結び童子	2013	ブロンズ	13.0 × 8.0 × 8.0	群馬県立館林美術館
2	上根拓馬	27 ガーディアンズ 大弁功德天	2010	エポキシ樹脂、レジン キャスト	30.0 × 15.0 × 15.0	群馬県立館林美術館 寄託(I氏コレクション)
3	上根拓馬	28 ガーディアンズ 那羅延堅固	2011	エポキシ樹脂、レジン キャスト	55.0 × 25.0 × 25.0	群馬県立館林美術館 寄託(I氏コレクション)
4	上根拓馬	28 ガーディアンズ 密遮金剛力士	2011	エポキシ樹脂、レジン キャスト	55.0 × 25.0 × 25.0	群馬県立館林美術館 寄託(I氏コレクション)
5	上根拓馬	12 ガーディアンズ no.2 伐折羅大将	2011	エポキシ樹脂、レジン キャスト、ミクストメディ ア	30.0 × 15.0 × 15.0	群馬県立館林美術館 寄託(I氏コレクション)
6	福田美蘭	大津絵—雷公	2014	アクリル・パネル	227.3 × 181.8	群馬県立館林美術館
7	勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5 × 64.5 × 50.0	群馬県立館林美術館 寄託
8	勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0 × 49.0 × 25.0	群馬県立館林美術館 寄託
9	勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0 × 65.0 × 54.0	群馬県立館林美術館 寄託
10	岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ステンレス スチール、カンヴァス、 合板	183.0 × 200.0 × 398.0	群馬県立館林美術館 寄託
11	西村盛雄	無題	2004	蓮の葉、紙	185.0 × 185.0	群馬県立館林美術館
12	西村盛雄	甘露の雨：マナ 10	2002	木	65.0 × 160.0 × 207.0	群馬県立館林美術館
13	バーバラ・ ヘップワース	アポロン	1951	スチール・ロッド	158.5 × 79.0 × 110.5	群馬県立館林美術館
14	ラウル・デュフィ	電気の精(10点組)	1953 刊	カラーリトグラフ・紙	各 100.0 × 62.0 第10葉のみ 100.0 × 60.0	群馬県立館林美術館

1-(2) ものがたりの挿絵

15	デイヴィッド・ ホックニー	『6つのグリム童話のための挿絵』 より 「あめふらし」より 塔の中の王女 卵に隠れた少年 魚に隠れた少年 少年を探す王女 「めつけ鳥」より 森のある風景 湖 「ラプンツェル」より 庭で育つラプンツェル 庭の魔法使い 魔法使いと赤ん坊ラプンツェル	1969 (1970 刊)	エッチング、アクアチン ト・紙 エッチング、アクアチン ト、ドライポイント・紙 エッチング、アクアチン ト・紙 エッチング、アクアチン ト・紙 エッチング、アクアチン ト・紙 エッチング、アクアチン ト・紙 エッチング、アクアチン ト・紙 エッチング、アクアチン ト・紙	44.7 × 32.3 19.8 × 17.0 23.1 × 26.8 26.7 × 17.0 39.0 × 27.0 44.2 × 31.8 44.0 × 32.7 23.2 × 13.0 27.0 × 23.1	群馬県立館林美術館
----	------------------	---	------------------	--	---	-----------

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横／ 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵
		成長したラプンツェル		エッチング、アクアチ ント・紙	22.0 × 24.5	
		ひとつ窓の塔		エッチング、アクアチ ント・紙	33.5 × 15.0	
		ラプンツェル、ラプンツェル、お まえの髪の毛下ろしておくれ		エッチング、アクアチ ント・紙	25.8 × 24.8	
		「こわがり修業に出た男」より				
		石のように立って幽霊を装う寺男		エッチング、アクアチ ント・紙	44.5 × 32.2	
		飛びかかる黒猫		エッチング、アクアチ ント・紙	23.5 × 27.0	
16	マルク・シャガール	『死せる魂』 (ニコライ・ゴーゴリ著)より	1923-27 (1948刊)	エッチング、ドライポイ ント、アクアチント・紙		群馬県立館林美術館
		道中			22.1 × 28.7	
		マニーロフ			28.7 × 22.1	
		扉口でのマニーロフとチチコフ			28.7 × 22.1	
		マニーロフにいとまを告げるチチ コフ			22.7 × 29.3	
		四輪車がひっくり返る			22.8 × 29.7	
		コロポチカ夫人			30.0 × 22.7	
		ベッドの上のチチコフ			19.8 × 28.4	
		放し飼いの庭			22.5 × 29.3	
		朝のお茶			22.6 × 29.6	
		大喜びする寝巻姿のチチコフ			27.7 × 21.1	
17	パブロ・ピカソ	『知られざる傑作』 (オノレ・ド・バルザック著)より	1927-31 (1931刊)	エッチング・紙	24.5 × 32.5 (ペーパー)	群馬県立館林美術館
		彫刻の前の彫刻家				
		二人のモデルの間の画家				
		牡牛と馬				
		画家と編み物をするモデル				
		塑像する彫刻家				
		絵筆を拾う画家				
		三人の立つ裸婦				
		動物と男たちのエスキースに囲 まれ坐る裸体				
		絵の前の画家				
		イーゼルの前の画家				
18		『テニソン詩集』	1857刊	木口木版・紙(書籍)	21.5 × 15.0	群馬県立館林美術館
	ウィリアム・ホルマ ン・ハント	シャロット姫			9.5 × 8.2	
19	ローレンス・ハウス マン	『ゴブリン・マーケット』 (クリスティーナ・ロセッティ著)より	1893刊	ラインブロック・紙(書 籍)	18.2 × 10.4	群馬県立館林美術館
20	ローレンス・ハウス マン	『妖精の国の農場』	1894刊 (初版)	木口木版・紙(書籍)	19.1 × 12.8	群馬県立館林美術館
1- (3) 詩とことばあそび						
21	パブロ・ピカソ	『真夜中の馬たち』 (ロク・グレイ著)より	1955-56 (1956刊)	ドライポイント、ビュラン・ 紙		群馬県立館林美術館
22		『ポエム』(全24点)より	1962-67 (1968刊)			群馬県立館林美術館
		I		木版・紙		
		II		木版・紙		
		VII		木版・紙		

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横／ 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵
		X		木版・紙		
		XI		木版・紙		
		XV		木版、コラージュ・紙		
		XVI		木版、コラージュ・紙		
23	マックス・エルンスト	『ルイス・キャロルの魔法の角笛』 より	1970 刊	リトグラフ・紙	50.0 × 32.6 (ペーパー)	

## 第2章 植物とものがたり

24	柄澤齊	『樹々の家族』(全61点)より	2002-03 (2004刷)	木版・紙	各 19.0 × 22.0	群馬県立館林美術館
		樹々の家族				
		羽化				
		ゆきげ				
		ダンス				
		芽ぶき				
		階段				
		さみどり				
		予感				
		射光				
		真昼				
		あーん				
		こぶし				
		アンテナ				
		塔				
		ホッホ				
		影				
		山河				
		雨あがり				
		嘴				
		黒猫				
		昔日				
		ポーター				
		何処へ				
		六月				
		洪水				
		いざない				
		たまむし				
		会話				
		夜想曲				
		夢のなかへ				
		水辺				
		園丁				
		花火				
		のびゆく影				
		夜の鳥				
		翅				
		ひがんばんな				



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横／ 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵
25	J.-J. グランヴィル	『生きている花々』 (タクシル・ドロール著)より 第1巻 扉絵 ヤグルマソウとヒナゲン ユリ バラ スイレン スイカズラ ヒマワリ アザミ	1847 刊	木口木版、手彩色・紙 スチール・エングレー ヴィング、手彩色・紙 スチール・エングレー ヴィング、手彩色・紙 スチール・エングレー ヴィング、手彩色・紙 スチール・エングレー ヴィング、手彩色・紙 スチール・エングレー ヴィング、手彩色・紙 スチール・エングレー ヴィング、手彩色・紙 スチール・エングレー ヴィング、手彩色・紙	各 25.8 × 18.0(ページ)	群馬県立館林美術館
26	エドワード・ バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』 (全 38 点)より ヤコブの梯子 天国のバラ クサリヘビの舌 金の門 ヴィーナスの鏡 春の鍵 もつれた愛 金色のにわか雨 ベツレヘムの星 最愛の者よ目覚めよ 我が家へようこそ 白い庭	1882-98 (1905 刊)	カラーリトグラフ (一部 手彩色)・紙	15.1 × 15.5 15.7 × 15.9 16.2 × 16.2 15.7 × 15.9 15.9 × 15.7 16.7 × 16.8 16.6 × 16.7 16.2 × 16.3 16.8 × 16.9 15.6 × 15.8 15.7 × 16.1 15.4 × 15.6	群馬県立館林美術館
27	ジョージ・ ロッドディーズ	『ボタニカル・キャビネット』(ロッ ディーズ父子著)	1817-33 刊	エングレーヴィング、部 分的に手彩色・紙(書籍)	16.6 × 10.1(ページ)	群馬県立館林美術館
28	エドウィン・ ダルトン・スミス	『ザ・ボタニク・ガーデン』(ベ ンジャミン・モーンズ著)第2巻	1827-28 刊	エングレーヴィング、手 彩色・紙(書籍)	19.3 × 15.7(ページ)	群馬県立館林美術館
29	ジム・ダイン	『フローラの神殿』より (扉絵)ナンシーの庭の細部 ストレリチア(ゴクラクチョウカ) チューリップ エジプト睡蓮 カーネーション 白ユリ バラ ウイングド・パッション・フラワー ベニゴウカン エジプト・ハス	1984	ドライポイント・紙	各 45.7 × 30.5	群馬県立館林美術館

### 第3章 動物とものがたり

30	J.-J. グランヴィル	『当世風変身譚』 (アルベリック・スゴン他著)より 自然の摂理に基づく結婚	1854 刊	木口木版、手彩色・ 紙	各 26.0 × 16.0(ページ)	群馬県立館林美術館
----	--------------	---	--------	----------------	--------------------	-----------

No. 作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横/ 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵
	法に基づく結婚 「乳母よ、来て、来て。」「まあ、 なんと旦那様に似ていること。」 誰にも会わないよ 会食 水泳教室 歌のコンサート				
31	J.-J. グランヴィル 『ラ・フォンテーヌの寓話』より セミとアリ カラスとキツネ ウシと同じくらい大きくなろうとし たカエル オオカミとイヌ オオカミと子ヒツジ ライオンの恋 ウサギとカメ クマと庭好きな男	1838 刊	木口木版・紙	各 21.6 × 14.0 (ページ)	群馬県立館林美術館
32	J.-J. グランヴィル 『動物たちの公私にわたる生活の 情景』 (P.-J. スタール監修、 オフレ・ド・バルザック他著)より	1842 刊	木口木版・紙	26.0 × 16.0	群馬県立館林美術館
33	ラウル・デュフィ 『動物詩集、あるいはオルフェウ スのお供たち』 (ギヨーム・アポリネール著)より オルフェウス 馬 蛇 ライオン 毛虫 イルカ タコ 白鳩 クジャク	1911 刊	木版・紙	25.6 × 20.5 20.6 × 19.6 20.4 × 19.4 20.6 × 19.2 20.4 × 19.4 20.4 × 19.5 20.2 × 19.4 20.3 × 19.4 20.4 × 19.0	群馬県立館林美術館
34	パブロ・ピカソ 『博物誌』(ビュフォン著)より 馬 雄牛 猫 犬 雄鶏 母雌鶏 鳩 ヒキガエル	1936 (1942 刊)	シュガー・アクアチント、 スクレイパー、ドライポ イント、ビュラン・紙	27.0 × 21.0 27.0 × 23.0 26.8 × 21.6 29.6 × 24.0 26.8 × 21.0 31.0 × 25.6 27.0 × 21.5 28.0 × 22.2	群馬県立館林美術館
35	トマス・ビューイック 『四足獣概説』	1800 刊 (第4版)	木口木版・紙 (書籍)	20.8 × 12.8	群馬県立館林美術館
36	トマス・ビューイック 『英国鳥類誌』	1797 刊	木口木版・紙 (書籍)	22.7 × 13.7 (ページ)	群馬県立館林美術館
37	オリバー・ ゴールドスミス 『大地と生物の自然史』	1824 以降刊	エングレーヴィング、手 彩色・紙 (書籍)	25.2 × 15.5 (ページ)	群馬県立館林美術館
38	アンディ・ ウォーホル 『危機に瀕した種』 (全10点)より ロッキー羊	1983	シルクスクリーン・紙	各 96.5 × 96.7	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横／ 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵
		シベリアタイガー				
		サンフランシスコ・シルバースポット				
		オランウータン				
		クロサイ				
		ジャイアントパンダ				
		アフリカ象				
		グレーヴィーシマウマ				

#### 第4章 予感されるものごたり

39	南桂子	月	1954	エッチング、サンドペーパー・紙	32.5 × 24.0	群馬県立館林美術館
40	南桂子	公園	1956	銅版画・紙	29.0 × 29.1	群馬県立館林美術館
41	南桂子	街と6羽の飛ぶ鳥	1963	エッチング、ソフトグラ ンドエッチング、スピット バイト、サンドペーパー・ 紙	38.0 × 28.2	群馬県立館林美術館
42	南桂子	雨の日	1964	エッチング、ソフトグラ ンドエッチング、サンド ペーパー・紙	35.0 × 27.3	群馬県立館林美術館
43	南桂子	サン・ドニール・フェルマン	1965	エッチング、ソフトグラ ンドエッチング、サンド ペーパー・紙	30.0 × 28.4	群馬県立館林美術館
44	南桂子	異国の鳥	1970	エッチング、ソフトグラ ンドエッチング、サンド ペーパー・紙	33.8 × 28.4	群馬県立館林美術館
45	南桂子	マロニエと少女	1975	エッチング、サンドペーパー・紙	34.8 × 28.3	群馬県立館林美術館
46	ヘンリー・ムーア	母と子	1938 (1985 鋳造)	ブロンズ、糸	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
47	アーブラハム＝ ダーフィット・ クリスティアン	清らかな人 XI	1982 (1986 鋳造)	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
48	山口晃	深山寺参詣圖	1994	油彩・カンヴァス	170.0 × 210.0	群馬県立館林美術館

---

## ◎印刷物・会場作成物

- ・ポスター B2
- ・チラシ A4
- ・ジュニアガイド 観音開き、18.1×38.1 cm（仕上がりサイズ 18.1×9.5 cm）

編集・発行：群馬県立館林美術館

デザイン：宮西英洋（株式会社ライブアートブックス）

制作：株式会社ライブアートブックス

- ・パネル

挨拶 1 枚、章解説 4 枚、会場配布用作品リスト

## ◎主要関連記事

（長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略）

[ 新聞等 ]

- ・朝日ぐんま

5.27

「ものがたりの予感展 自由な視点でアートに親しんで」＊〈文化紀行〉（学芸員 伊藤香織）

- ・上毛新聞

5.24

「県内出身俳優らワークショップ 館林美術館 物語誕生の瞬間を体感」＊〈東毛〉

6.14

「「物語」テーマに企画展 26 日まで 版画、油彩、彫刻…200 点」

＊

- ・東京新聞

5.17

「物語感じる アート作品」

- ・読売新聞

4.22

「館林 企画展「ものがたりの予感」〈イベントガイド〉

[ 定期刊行物 ]

- ・タウンぐんま

4.22

「企画展示 ものがたりの予感」

- ・月刊 bilick

4、5、6 月号

「群馬県立館林美術館」〈ART & STAGE EVENT〉

## ◎関連事業

- ・学芸員による作品解説会

5.11、6.12

- ・たてび☆キッズウォーク

5.4

- ・たてび☆びじゅつ部

6.18

「展覧会ポスターでエコバックをつくろう」

- ・演劇ワークショップ

「「ものがたり」の扉をひらく」

5.22

ファシリテーター：加藤真史（劇作家、演劇／微熱少年）

助言者：大竹直（青年団）、加藤亮佑（ex. ニナガワスタジオ）



展示室 2



展示室 4



展示室 4



展示室 4

## 2. 生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良

会期 令和4年7月16日(土)～9月19日(月・祝)

会場 展示室2、3、4

主催 群馬県立館林美術館

企画協力 SDアート

観覧料 一般830(660)円 大高生410(320)円

( )内は、20名以上の団体割引料金

宮城県に生まれた佐藤忠良(1912-2011)は、青年期までを北海道で過ごし、画家を志して上京、その後ロダンをはじめとするフランス近代美術に魅せられ、東京美術学校(現・東京藝術大学)で彫刻を学んだ。卒業して間もなく新制作派協会(現・新制作協会)彫刻部の創立に参加し、彫刻家としての道を歩み始める。戦時中、召集されて旧満州に渡り、3年間のシベリア抑留を経験し、復員後は一貫して具象彫刻の道を歩み戦後の日本彫刻史に大きな足跡を残した。

本展覧会は、佐藤忠良の三つの代表作に焦点を当てて紹介している。写実を追求し、日本人の手で初めて日本人の顔を表現したと高く評価された《群馬の人》、イタリアの近代彫刻に刺激を受け、当時の若い女性が身につけた衣服や帽子を活力あるポーズに取り込んだ《帽子・夏》、的確な描写力と場面展開によって読み継がれているロングセラー絵本『大きなかぶ』、これら三点の傑作の制作背景を、佐藤自身が収集したロダン、

ムーア、マリニーなどの作品と、彼らについて語った言葉を手がかりに解き明かした。

特に今回、初期の代表作《群馬の人》を群馬県民に紹介するまたとない機会となった。モデルのひとりとなった、大泉町出身の岩瀬久雄氏は、作家の人生に大きな影響を与えた重要な人物である。大泉町では作家とモデルの生涯にわたる深い交流が縁となり、町内の公共施設に3点の屋外彫刻を設置している。また、制作の契機となったもうひとりのモデル、岡本喬氏は藤岡市出身の詩人で教師でもあり、実際にバリカンで髪を短く切ってモデル台に上がり、制作上多大なインスピレーションを与えている。《群馬の人》は個々のモデルを超え、当時の時代をも映し出す、日本人を象徴する頭像であると評価されたものであるが、その背景を紹介することによって、群馬県民にとって親しみ深い1点となったに違いない。

さらに、今回夏休みの時期に開催したことによって、『大きなかぶ』をはじめとする絵本や紙芝居の原画にも注目が集まった。親子や祖父母の世代がともに楽しむばかりでなく、戦争の時代を生きた作者の人生を、戦後長い月日を経た現代の子どもたちにも伝える機会となったと思われる。



Sato Churyo: Rereading Three Masterpieces



Sato Churyo  
Rereading Three Masterpieces

### 図録

生誕110年  
**傑作誕生・佐藤忠良**

2022年7月16日(土)～9月19日(月・祝)

※会期外、一部作品の展示替えを行います。会期7月16日(土)～8月27日(日)、8月28日(月)～9月19日(月・祝)  
※観覧料：一般830(660)円、大・高生410(320)円 ※30歳未満の観覧料は、20名以上の団体割引料金  
※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方の観覧料は別途お問い合わせください ※群馬県民の6歳以上の幼児は半額200円  
主催：群馬県立館林美術館 企画協力：SDアート

群馬県立館林美術館 〒374-0276 群馬県館林市田成2003  
tel. 0276-72-8188(代表) fax. 0276-72-8238  
http://www.gmai.pref.gunma.jp

GMAT Gunma Museum of Art, Tamatebashi

生誕110年  
**傑作誕生・佐藤忠良**

ジュニアガイド

美術館でのルールとマナー  
展示室の中で大きな声を出したり、走ったりしないでください。  
展示室の中で写真を撮ることはできません。  
展示室でかばんをとるときは、えんぴつを使ってください。  
展示してあるものにさわらないでください。

群馬県立館林美術館

《帽子・夏》(部分)  
1972年 宮城県美術館蔵  
photo©佐々木香輔

### ジュニアガイド

### ポスター

◎出品目録

前期：7月16日(土)～8月21日(日)

後期：8月23日(火)～9月19日(月・祝)

I. 《群馬の人》—フランス近代彫刻から学んだもの

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横/ 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵	前期	後期
01	佐藤忠良	女の顔	1941	ブロンズ	30.0 × 16.5 × 23.0	宮城県美術館	○	○
02	佐藤忠良	母の顔	1942	ブロンズ	33.0 × 17.5 × 22.5	宮城県美術館	○	○
03	佐藤忠良	オリエ	1949	ブロンズ	27.5 × 16.5 × 20.0	宮城県美術館	○	○
04	佐藤忠良	画家の像	1952	ブロンズ	30.0 × 19.0 × 25.0	宮城県美術館	○	○
05	佐藤忠良	群馬の人	1952	ブロンズ	29.5 × 19.0 × 24.0	宮城県美術館	○	○
06	佐藤忠良	木曾	1955	ブロンズ	23.0 × 17.5 × 25.5	宮城県美術館	○	○
07	佐藤忠良	水	1955	ブロンズ	25.0 × 19.0 × 21.5	宮城県美術館	○	○
08	佐藤忠良	土	1956	ブロンズ	20.0 × 24.0 × 22.5	宮城県美術館	○	○
09	佐藤忠良	常磐の大工	1956	セメント	22.5 × 16.0 × 24.0	宮城県美術館	○	○
10	佐藤忠良	建築家	1957	ブロンズ	33.0 × 18.5 × 23.0	宮城県美術館	○	○
11	佐藤忠良	魚商の女	1960	ブロンズ	26.5 × 16.5 × 26.0	宮城県美術館	○	○
12	佐藤忠良	しゃがむ女	1957	ブロンズ	28.5 × 32.0 × 17.0	宮城県美術館	○	○
13	佐藤忠良	脚のばす女	1963	ブロンズ	35.0 × 11.0 × 17.5	宮城県美術館	○	○
14	佐藤忠良	裸婦座像	1963	ブロンズ	33.5 × 11.5 × 17.5	宮城県美術館	○	○
15	佐藤忠良	ふざけっこ	1964	ブロンズ	99.0 × 50.0 × 30.0	宮城県美術館	○	○
16	佐藤忠良	翳(かげ)	1975	ブロンズ	90.0 × 56.5 × 48.0	宮城県美術館	○	○
17	佐藤忠良	題名不詳	1938	紙、コンテ	32.0 × 22.8	宮城県美術館	○	
18	佐藤忠良	春江さん	1938 頃	紙、コンテ	31.7 × 23.3	宮城県美術館		○
19	佐藤忠良	母	1942 頃	紙、墨・水彩	25.0 × 18.1	宮城県美術館	○	
20	佐藤忠良	弟の像(建築家)	1957	紙、鉛筆	25.5 × 21.9	宮城県美術館		○
21	佐藤忠良	常磐炭砵・煙突	1956	紙、コンテ・ボールペン・水彩	21.0 × 21.0	いわき市立美術館	○	
22	佐藤忠良	常磐炭砵・選炭場風景	1956	紙、コンテ・水彩	21.0 × 20.0	いわき市立美術館		○
23	佐藤忠良	常磐・たて坑	1956	紙、鉛筆	30.7 × 24.5	いわき市立美術館	○	
24	佐藤忠良	古河炭砵・ズリ山	1956	紙、鉛筆・コンテ	29.0 × 37.5	いわき市立美術館		○
25	佐藤忠良	常磐・ズリ山風景(1)	1956	紙、鉛筆	13.2 × 16.0	いわき市立美術館	○	
26	佐藤忠良	常磐・ズリ山風景(2)	1956	紙、鉛筆	25.2 × 30.8	いわき市立美術館		○
27	佐藤忠良	炭坑(やま)の道	1956	紙、鉛筆	30.7 × 25.2	いわき市立美術館	○	
28	佐藤忠良	小田炭砵	1956	紙、鉛筆	25.2 × 30.7	いわき市立美術館		○
29	佐藤忠良	小田炭砵・大工(1)	1956	紙、鉛筆	30.7 × 25.2	いわき市立美術館	○	
30	佐藤忠良	小田炭砵・大工(2)	1956	紙、鉛筆	30.7 × 25.2	いわき市立美術館		○
31	佐藤忠良	坑夫・常磐	1956	紙、鉛筆	28.4 × 14.5	いわき市立美術館	○	
32	佐藤忠良	坑夫	1956	紙、鉛筆	35.4 × 25.2	いわき市立美術館		○
33	佐藤忠良	漁師	1960	紙、コンテ	35.6 × 26.0	宮城県美術館	○	
34	佐藤忠良	漁師	1960	紙、コンテ	35.6 × 26.1	宮城県美術館		○
35	佐藤忠良	横たわる裸婦	1956	紙、鉛筆・水彩	25.8 × 36.4	宮城県美術館	○	
36	佐藤忠良	髪に手の女	1965 頃	紙、インク・水彩	35.3 × 25.3	宮城県美術館		○
37	佐藤忠良	膝立ての裸婦	1958 頃	紙、インク	35.7 × 27.0	宮城県美術館	○	
38	佐藤忠良	背中	1975	紙、鉛筆	24.5 × 17.5	宮城県美術館		○
39	佐藤忠良	学生の顔	1956 頃	紙、鉛筆	26.9 × 19.0	宮城県美術館	○	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横／高さ×幅×奥行き cm）	所蔵	前期	後期
40	佐藤忠良	若い女	1959	紙、コンテ	35.5 × 25.0	宮城県美術館		○
41	佐藤忠良	膝を抱える座婦	1963	紙、コンテ	35.8 × 25.2	宮城県美術館	○	
42	佐藤忠良	かがむ女	1963頃	紙、コンテ	38.1 × 27.0	宮城県美術館		○
43	佐藤忠良	脚をなげて	1960頃	紙、墨	25.1 × 17.1	宮城県美術館	○	
44	佐藤忠良	ふざけっこ	1964頃	紙、鉛筆	25.0 × 35.0	宮城県美術館		○
C01	エドガー・ドガ	休息する二人のダンサー	制作年不詳	厚紙、木炭	68.8 × 54.7	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	
C02	エドガー・ドガ	浴槽の脇で身体を拭う女	制作年不詳	紙、コンテ	56.9 × 52.3	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○
C03	オーギュスト・ロダン	題名不詳	制作年不詳	紙、水彩・鉛筆・コンテ	32.7 × 25.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	
C04	オーギュスト・ロダン	題名不詳	制作年不詳	紙、水彩・鉛筆	32.6 × 30.5	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	
C05	オーギュスト・ロダン	台の上に屈む裸婦	制作年不詳	紙、鉛筆・水彩	33.5 × 27.5	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○
C06	オーギュスト・ロダン	横たわって脚を伸ばす裸婦	制作年不詳	紙、鉛筆・水彩	24.7 × 24.7	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○
C07	アリスティード・マイヨール	肘をあげて	1930	ブロンズ	28.5 × 10.5 × 11.5	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	○
C08	アリスティード・マイヨール	《とらわれのアクション》のための習作	制作年不詳	紙、鉛筆	22.7 × 17.6	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○
C09	シャルル・デスビオ	ベルト・シモン嬢	1928	ブロンズ	38.0 × 21.0 × 22.5	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	○
C10	シャルル・デスビオ	裸婦	制作年不詳	紙、色鉛筆	33.5 × 22.2	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	

## II. 《帽子・夏》—イタリア近代彫刻への共感と空間の探求

01	佐藤忠良	足なげる女	1957	ブロンズ	94.5 × 74.0 × 108.0	宮城県美術館	○	○
02	佐藤忠良	娘の像	1959(61年に一部改変)	ブロンズ	157.5 × 62.5 × 52.5	宮城県美術館	○	○
03	佐藤忠良	若い女	1961	ブロンズ	140.0 × 36.0 × 34.0	宮城県美術館	○	○
04	佐藤忠良	帽子の女	1963	ブロンズ	42.5 × 30.0 × 28.5	宮城県美術館	○	○
05	佐藤忠良	うずくまる裸婦	1963	ブロンズ	58.0 × 45.5 × 57.0	宮城県美術館	○	○
06	佐藤忠良	冬の子供	1965	ブロンズ	107.5 × 32.5 × 26.0	宮城県美術館	○	○
07	佐藤忠良	若い女の顔	1967	ブロンズ	25.5 × 22.5 × 27.5	宮城県美術館	○	○
08	佐藤忠良	ボタン(大)	1967-69	ブロンズ	125.5 × 40.5 × 35.5	宮城県美術館	○	○
09	佐藤忠良	円い椅子	1973	ブロンズ	60.0 × 65.0 × 96.0	宮城県美術館	○	○
10	佐藤忠良	若い女	1971	ブロンズ	174.5 × 103.5 × 58.0	宮城県美術館	○	○
11	佐藤忠良	帽子・夏	1972	ブロンズ	105.0 × 59.0 × 42.5	宮城県美術館	○	○
12	佐藤忠良	若い女・夏	1972	ブロンズ	149.0 × 77.5 × 51.0	宮城県美術館	○	○
13	佐藤忠良	帽子・あぐら	1973	ブロンズ	84.5 × 66.0 × 49.5	宮城県美術館	○	○
14	佐藤忠良	帽子・立像	1974	ブロンズ	143.5 × 60.0 × 37.0	宮城県美術館	○	○
15	佐藤忠良	まげたポーズの子	1975	ブロンズ	91.0 × 44.0 × 30.0	宮城県美術館	○	○
16	佐藤忠良	カンカン帽	1975	ポリエステル樹脂	51.5 × 40.0 × 32.0	宮城県美術館	○	○
17	佐藤忠良	大きな帽子	1977	ブロンズ	148.0 × 48.0 × 42.0	宮城県美術館	○	○
18	佐藤忠良	帽子・冬	1979	ブロンズ	112.0 × 54.5 × 47.0	宮城県美術館	○	○
19	佐藤忠良	フードの竜	1980	ブロンズ	120.5 × 32.5 × 39.0	宮城県美術館	○	○
20	佐藤忠良	ラップ帽	1982	ブロンズ	47.5 × 18.8 × 24.5	宮城県美術館	○	○
21	佐藤忠良	裸像	1957頃	紙、コンテ	35.2 × 24.5	宮城県美術館	○	



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横／ 高さ×幅×奥行き cm）	所蔵	前期	後期
22	佐藤忠良	身体をねじる裸	1958	紙、木炭	38.0 × 27.0	宮城県美術館		○
23	佐藤忠良	娘の像	1959	紙、コンテ	38.1 × 27.0	宮城県美術館	○	
24	佐藤忠良	《娘の像》のデッサン	1959	紙、コンテ・墨・鉛筆	35.7 × 25.1	宮城県美術館		○
25	佐藤忠良	しゃがむ	1958 頃	紙、鉛筆	35.9 × 25.0	宮城県美術館	○	
26	佐藤忠良	しゃがむ女	1959 頃	紙、コンテ	35.3 × 25.1	宮城県美術館		○
27	佐藤忠良	チコ	1989	紙、コンテ・色鉛筆・クレヨン	42.0 × 29.5	宮城県美術館	○	
28	佐藤忠良	冬帽子	1975	紙、コンテ・水彩	40.8 × 32.6	宮城県美術館		○
29	佐藤忠良	資料：《帽子・夏》のモデルになった帽子				宮城県美術館	○	○
30	佐藤忠良	資料：《カンカン帽》のモデルになった帽子				宮城県美術館	○	○
C01	マリノ・マリーニ	題名不詳	1944	紙、インク	25.2 × 35.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	
C02	マリノ・マリーニ	騎手	1950	カンヴァスに紙、油彩	149.7 × 99.3	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	○
C03	マリノ・マリーニ	馬と裸婦	1952	紙、グアッシュ・パステル・インク	34.5 × 26.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	
C04	マリノ・マリーニ	騎手	1953	カンヴァスに紙、グアッシュ・インク	62.0 × 43.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○
C05	マリノ・マリーニ	コンポジション	1961	紙、塗料・鉛筆・紙のカラージュ	66.0 × 50.4	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○
C06	マリノ・マリーニ	マルク・シャガールの肖像	1962	ブロンズ	29.5 × 18.0 × 21.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	○
C07	ジャコモ・マンズー	題名不詳	1934	紙、インク	35.0 × 26.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	
C08	ジャコモ・マンズー	題名不詳	1977	紙、鉛筆	47.0 × 35.2	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○
C09	エミリオ・グレコ	うずくまる女 No. 2	1956	ブロンズ	65.0 × 45.0 × 33.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	○
C10	エミリオ・グレコ	恋人 No.2	1969	紙、リトグラフ	50.5 × 71.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	
C11	エミリオ・グレコ	わかれ No.20	1977	紙、リトグラフ	69.8 × 50.1	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○
C12	ヘンリー・ムーア	題名不詳	1924	紙、鉛筆	21.0 × 38.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	
C13	ヘンリー・ムーア	彫刻のための習作（両面）	1942	紙、グアッシュ・チャコール・クレヨン	17.0 × 24.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	○
C14	ヘンリー・ムーア	座る裸婦 習作	1949	紙、グアッシュ	28.5 × 24.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○
C15	ヘンリー・ムーア	横たわる人体 No. 4（マケット）	1952	ブロンズ	9.00 × 16.0 × 8.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	○
C16		六つの彫刻のアイデア	1979	紙、リトグラフ	31.7 × 42.5	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○

### Ⅲ. 《おおきなかぶ》—画家・佐藤忠良の足跡

01	佐藤忠良	風景	1930 頃	カンヴァスボード、油彩	22.3 × 27.6	宮城県美術館	○	○
02	佐藤忠良	静物	1930 頃	カンヴァスボード、油彩	24.0 × 32.7	宮城県美術館	○	○
03	佐藤忠良	風景	1932	カンヴァスボード、油彩	24.0 × 33.0	宮城県美術館	○	○
04	佐藤忠良	冬の裏街（札幌）	1932	カンヴァス、油彩	37.6 × 45.7	宮城県美術館	○	○
05	佐藤忠良	題名不詳	1932	板、油彩	24.1 × 33.5	宮城県美術館	○	○
06	佐藤忠良	自画像	1933	カンヴァス、油彩	40.8 × 31.8	宮城県美術館	○	○
07	佐藤忠良	無花果	1934 頃	板、油彩	15.7 × 22.8	宮城県美術館	○	○

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横／ 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵	前期	後期
08	佐藤忠良	櫓で死体を埋めに行く捕虜たち	1980	紙、鉛筆・水彩	13.7 × 19.9	宮城県美術館	○	
09	佐藤忠良	収容所の宿舎	1980	紙、鉛筆・水彩	19.9 × 27.5	宮城県美術館		○
10	佐藤忠良	捕虜の食事運びとソビエト兵・女性	1980	紙、鉛筆・水彩	13.8 × 19.9	宮城県美術館	○	
11	佐藤忠良	収容所の門	1980	紙、鉛筆・水彩	20.0 × 27.6	宮城県美術館		○
12	佐藤忠良	「かつお漁船」挿絵原画	1954.7 刊	カンヴァス、油彩	38.0 × 45.5	宮城県美術館	○	○
		佐藤忠良(画)、吉田一穂(文)『キンダーブック: 観察絵本』第9集 第4編、フレーベル館						
13		「ゆきまつり」挿絵原画	1955.1 刊	カンヴァスボード、油彩	37.7 × 45.2	宮城県美術館	○	○
		佐藤忠良(画)、吉田一穂(文)『キンダーブック: 観察絵本』第9集 第10編、フレーベル館						
14		『平和のちかい』紙芝居原画 1-16 頁	1952.5 刊	紙、水彩	37.6 × 54.0(表紙寸)	宮城県美術館	○	○
		佐藤忠良(画)、稲庭桂子(脚本)、教育紙芝居研究会(制作)、日本紙芝居幻灯株式会社						
15		『はちろう』紙芝居原画 1-16 頁	1961.4 刊	紙、鉛筆・水彩	26.7 × 37.7(表紙寸)	宮城県美術館	○	
		佐藤忠良(画)、吉沢和夫(脚本)、民話の会(編集)、童心社						
16		『チャイコフスキー』紙芝居原画 1-16 頁	1962.2 刊	紙、鉛筆・水彩	27.0 × 38.0(表紙寸)	宮城県美術館		○
		佐藤忠良(画)、下総皖一(監修)、堀尾青史(作)、童心社						
17		『おおきなかぶ』絵本原画 表紙・裏表紙・2-27 頁	1962.5 刊	紙、水彩・インク・コンテ・鉛筆	28.0 × 62.5(表紙寸)	宮城県美術館	○	○
		佐藤忠良(画)、アレクセイ・トルストイ(作)、内田莉沙子(訳)『こどものとも』74号、福音館書店						
18		『ゆきむすめ』絵本原画 表紙・裏表紙・1 頁(傑作集)・2-27 頁	1963.2 刊	紙、水彩・コンテ・鉛筆	27.4 × 36.2(表紙寸)	宮城県美術館	○	○
		佐藤忠良(画)、内田莉沙子(再話)『こどものとも』83号、福音館書店						
19		おおきなかぶ	2003	ブロンズ(レリーフ)	82.5 × 170.5	佐川美術館		
C01	グスタフ・クリムト	題名不詳	制作年不詳	紙、鉛筆	55.2 × 35.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	
C02	グスタフ・クリムト	題名不詳	制作年不詳	紙、鉛筆・色鉛筆	56.0 × 37.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○
C03	パブロ・ピカソ	エリック・サティの肖像	1920 頃	紙、鉛筆	49.4 × 30.4	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	
C04	パブロ・ピカソ	帽子の女(女性の顔)	1939	紙、墨	28.9 × 23.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○
C05	パブロ・ピカソ	題名不詳	1967	紙、水彩	75.5 × 57.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	
C06	パブロ・ピカソ	パイプを持って座る男	1969	紙、墨	31.0 × 22.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○
C07	アメデオ・モディリアーニ	もの思い	制作年不詳	紙、鉛筆	43.5 × 26.7	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)	○	
C08	アメデオ・モディリアーニ	題名不詳	制作年不詳	紙、鉛筆	48.7 × 34.0	宮城県美術館 (佐藤忠良コレクション)		○

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横／高さ×幅×奥行き cm）	所蔵	前期	後期
C09	ジュール・パス キン	二人の女	制作年不 詳	紙、コンテ	49.0 × 64.0	宮城県美術館 （佐藤忠良コレクション）	○	
C10	ベン・シャーン	書類を持って話す警察官 －《静かな夜》の習作	1949	紙、インク	29.7 × 25.8	宮城県美術館 （佐藤忠良コレクション）		○

## 資料

P01	佐藤忠良（画）、 吉田一穂（編）	『ウシヲカフムラ』金井信 生堂	1942.2	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P02		『リンゴ』金井信生堂	1943.12	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P03		『ウミへ』金井信生堂	1944.4	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P04	佐藤忠良（画）、 吉田一穂（文）	「かつお漁船」挿絵	1954.7	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P05		『キンダーブック：観察絵 本』第9集第4編、 フレーベル館 「ゆきまつり」挿絵	1955.1	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P06	佐藤忠良（画）、 稲庭桂子（脚 本）、教育紙芝 居研究会（製 作）	『平和のちかい』 発行：子どもの文化研究 所・稲庭桂子記念事業 団、販売：童心社	1979.6 復刻版	印刷物（紙芝居）		宮城県美術館	○	○
P07	佐藤忠良（画）、 吉沢和夫（脚 本）、民話の会 （編集）	『はちろう』 童心社	1961.4	印刷物（紙芝居）		宮城県美術館	○	○
P08	佐藤忠良（画）、 下総暁一（監 修）、堀尾青史 （作）	『チャイコフスキー』 童心社	1962.2	印刷物（紙芝居）		宮城県美術館	○	○
P09		『しょうがく こくご 1 ねん 上』 日本書籍	見本版 (1979.3 検定)	印刷物（教科書）		宮城県美術館	○	○
P10		『こくご 1 上 かぎぐるま』 光村図書	1981.2 (1979.3 検定)	印刷物（教科書）		宮城県美術館	○	○
P11		『しょうがっこう こくご 1 ね ん上』 学校図書	1989.1 (1985.3 検定 1988.3 改 訂)	印刷物（教科書）		宮城県美術館	○	○
P12		『新編 あたらしいこくご 1 上』 東京書籍	見本版 (1995.1 検定)	印刷物（教科書）		宮城県美術館	○	○
P13		『新訂 あたらしいこくご 1 上』 東京書籍	見本版 (1999.1 検定)	印刷物（教科書）		宮城県美術館	○	○
P14		『あたらしいこくご 1 上』 東京書籍	見本版 (2001.1 検定)	印刷物（教科書）		宮城県美術館	○	○
P15		『改訂 しょうがくこくご 1 上』 教育出版	見本版 (1985.3 検定 1988.3 改訂)	印刷物（教科書）		宮城県美術館	○	○
P16		『新版 こくご 1 上』 教育出版	1992.1 (1991.12 検定)	印刷物（教科書）		宮城県美術館	○	○

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横／高さ×幅×奥行き cm）	所蔵	前期	後期
P17		『ひろがることば しょうがくこくご 1 上』 教育出版	見本版 (2001.1 検定)	印刷物（教科書）		宮城県美術館	○	○
P18		『ひろがることば しょうがくこくご 1 上』 教育出版	見本版 (2010.3 検定)	印刷物（教科書）		宮城県美術館	○	○
P19		『おおきなかぶ』（英語版） R. I. C. Publications	2006.12 (2004.9 初版)	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P20		『おおきなかぶ』 （中国語簡体字版） 南海出版 公司	2008.6	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P21		『おおきなかぶ』 （中国語繁体字版） 樂山文化 事業有限公司	2009.11	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P22		『おおきなかぶ』 （タイ語版） Amarin Printing and Publishing Public Co., Ltd.	1999.6	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P23		『おおきなかぶ』 （クメール語版） Japan Sotoshu Relief Committee	刊行年不 詳	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P24		『おおきなかぶ』 （シンハラ語版） CHILD' S WORLD Picture Books	2006.5	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P25	佐藤忠良（画）、 アレクセイ・トル ストイ（作）、内 田莉沙子（訳）	『おおきなかぶ』 （読み聞かせ大型絵本 こどものとも劇場） 福音館書店	1998.3	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P26	佐藤忠良（画）、 神西 清（作）	『月が消えた話』 河出書房	1955.10	印刷物（児童書）		宮城県美術館	○	○
P27	佐藤忠良（画）、 平野 直（案）	『やまなしもぎ』 福音館書店	1989.10 (1959.9 初版)	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P28	佐藤忠良（画）、 神沢利子（作）	『いちごつみ』 福音館書店	1996.12 (1961.4 初版)	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P29	佐藤忠良（画）、 アレクセイ・トル ストイ（作）、内 田莉沙子（訳）	『おおきなかぶ』 福音館書店	1988.4 (1962.5 初版)	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P30	佐藤忠良（画） 内田莉沙子（再 話）	『ゆきむすめ』 福音館書店	1984.5 (1963.2 初版)	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P31	佐藤忠良（画）、 君島久子（再 話）	『おひゃくしょうとえんまさ ま』福音館書店	1987.1 (1969.9 初版)	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P32	佐藤忠良（画）、 中村草田男 （作）	『ビーバーの星』 福音館書店	1969.10	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P33	佐藤忠良（画）、 内田莉沙子（再 話）	『パンバヤガーのしろいとり』 福音館書店	1988.10 (1973.11 初版)	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P34	佐藤忠良（画）、 木島 始（文）	『木』 福音館書店	2005.7 (2001.2 初版)	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P35	佐藤忠良（画）、 セルゲイ・ミハ ルコフ（作）、 内田莉沙子 （文）	『三びきのこぶた』 偕成社	1966.7	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横／ 高さ×幅×奥行き cm）	所蔵	前期	後期
P36	佐藤忠良（画）、 グリム（作）、 佐藤義美（文）	『ねむりのもりのひめ』 偕成社	1966.12	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P37	佐藤忠良（画）、 イソップ（作）、 山中 恒（文）	『イソップのおはなし』 偕成社	1967.12	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P38	佐藤忠良（画）、 ウィリアム・ユズ ロフ（作）、内 田莉沙子（訳）	『ぼくたちの家出』 偕成社	1969.6	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P39	佐藤忠良（画）、 西郷竹彦（文）	『わらしべちょうじゃ』 ポプラ社	1982.11 (1968.1 初版)	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P40	佐藤忠良（画）、 椋 鳩十（作）	『ぎんいろの巣』 ポプラ社	1979.6 (1973.5 初版)	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P41	佐藤忠良（画）、 山本茂実（文）	『野麦峠をこえて』 ポプラ社	1973.10	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P42	佐藤忠良（画）、 大川悦生（文）	『ふたりがかけた橋』 ポプラ社	1975.7	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P43	佐藤忠良（画）、 婦人之友絵本 制作部（作）	『はなやひつじとはなした こども』 婦人之友社	1976.4 (1970.11 初版)	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P44	佐藤忠良（画）、 神沢利子（文）	『さんびきのくま』世 界文化社	1971.12	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○
P45	佐藤忠良（画）、 西本鶏介（文）	『ななつのほしのものがた り』 フレーベル館	1988.7 (1979.7 初版)	印刷物（絵本）		宮城県美術館	○	○

## ◎印刷物・会場作成物

・図録 B5 版変形

内容：

ごあいさつ

謝辞

目次

論文「彫刻との向きせぬ対話—佐藤忠良のリアリティ」(水沢勉)

論文「佐藤忠良の芸術」(三上満良)

カタログ

I <群馬の人>—フランス近代彫刻から学んだもの

II <帽子・夏>—イタリア近代彫刻への共感と空間の探求

III 『おおきなかぶ』—画家・佐藤忠良の足跡

論文「<群馬の人>—フランス近代彫刻から学んだもの」(神尾玲子)

論文「佐藤忠良といわき」(伊藤圭一郎)

論文「<帽子・夏>の頃—1970年代の女性表象について」(菊川亜騎)

論文「『おおきなかぶ』の前史をさぐる—画家・佐藤忠良の足跡」(赤間和美)

略年譜 (三上満良編)

主要文献—著述を中心に (赤間和美編)

出品作品目録

監修：三上満良

編集：宮城県美術館

群馬県立館林美術館

いわき市立美術館

神奈川県立近代美術館

執筆：水沢 勉 (神奈川県立近代美術館 館長)

三上満良 (元宮城県美術館 副館長)

赤間和美 (宮城県美術館学芸員)

伊藤圭一郎 (いわき市立美術館学芸員)

神尾玲子 (群馬県立館林美術館学芸係長)

菊川亜騎 (神奈川県立近代美術館学芸員)

翻訳：ベス・ケーリ

デザイン：梯耕治

制作：印象社

発行：SDアート

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド A4判6ページ、外三つ折り

文：神尾玲子 (群馬県立館林美術館)

編集・発行：群馬県立館林美術館

制作：株式会社スタルカ 美術出版企画部

・パネル

挨拶 1 枚、章解説 4 枚、会場配布用作品リスト

## ◎主要関連記事

(長文記事は末尾に\*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・教育家庭新聞

7.18

「佐藤忠良の3つの代表作に焦点を当てる 群馬県立館林美術館」

・上毛新聞

7.21

「県立館林美術館「生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良」展より①《群馬の人》\* <アートを楽しむ> (学芸員 神尾玲子)

7.28

「県立館林美術館「生誕100年 傑作誕生・佐藤忠良」展より②《帽子・夏》\* <アートを楽しむ> (学芸員 神尾玲子)

8.4

「県立館林美術館「生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良」展より③『おおきなかぶ』絵本原画 表紙・裏表紙(部分)\* <アートを楽しむ> (学芸員 神尾玲子)

8.18

「佐藤忠良を語る「生誕110年傑作誕生・佐藤忠良」記念講演会」<先どりピックアップ!>

8.19

<三山春秋>\*

8.22

「自由な発想でミニ彫刻 館林美術館 親子ら30組制作」\*

8.23

「彫刻「群馬の人」、「帽子・夏」絵本「おおきなかぶ」人間、表現し続ける 佐藤忠良さん生誕110年展 館林美術館」\*

12.27

「美術 閉塞感 展示で和らげる」<回顧2022>

・しんぶん赤旗

7.31

「生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良 戦後彫刻界に新風」

・東京新聞

7.12

「絵本「おおきなかぶ」原画など120点展示 彫刻家・佐藤忠良さん企画展」\*

・読売新聞

7.29

「館林 企画展「生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良」

[ 定期刊行物 ]

・月刊 アートコレクターズ

8月号

「生誕 110 年 傑作誕生・佐藤忠良」〈今月の展覧会ガイド〉

・ギャラリー

2022.vol.9

「生誕 110 年 傑作誕生・佐藤忠良」〈今月の展覧会〉

・美術の窓

7月号

「生誕 110 年 傑作誕生・佐藤忠良」\*

・月刊 bilick

7、8、9月号

「群馬県立館林美術館」〈ART & STAGE EVENT〉

・マンスリーとーぶ

8月号

「企画展示 生誕 110 年 傑作誕生・佐藤忠良～群馬県立館林美術館」

・モーストリー・クラシック

10月号

「生誕 110 年 傑作誕生・佐藤忠良」展 群馬県立館林美術館 血の通った日本人の姿を表現した「群馬の人」\*

・Moteco 両毛版

7、8、9月号

「生誕 110 年 傑作誕生・佐藤忠良」〈Event NEWS〉

・渡良瀬通信

7月号

「群馬県立館林美術館 生誕 110 年 傑作誕生・佐藤忠良」〈トピックス〉

◎関連事業

・記念講演会

9.3

「佐藤忠良が遺したもの」

講師：三上満良氏（本展監修者・元宮城県美術館副館長）

・学芸員による作品解説会

8.3、8.28

・たてび☆キッズウォーク

7.23、8.27

・ワークショップ

8.21

「ミニチュア彫刻をつくろう」

・みんなのアトリエ

「多色摺り木版画の摺り体験」

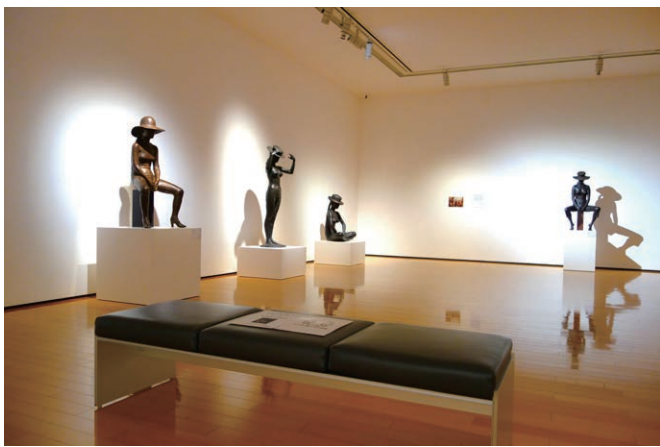
7.21、7.28、8.11、8.18



展示室 2



展示室 2



展示室 3



展示室 4



### 3. かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合！

会期 令和4年10月8日(土)～12月25日(日)  
会場 展示室2・3・4  
主催 群馬県立館林美術館  
特別協力 加古総合研究所、小湊鐵道  
企画協力 アートキッチン  
観覧料 一般830円(660円)、大高生410円(320円)  
( )内は20名以上の団体割引料金

日本を代表する絵本作家であるかこさとしは、32歳の時に最初の絵本『だむのおじさんたち』(1959年/福音館書店)を出版して以来、「だるまちゃん」シリーズ、「からすのパンやさん」シリーズといった物語絵本から、『かわ』、『地球』、『w』、『海』といった科学絵本、美術や歴史の絵本にいたるまで多岐にわたる著作を生み、現在でも多くの人々に親しまれている。

19歳で終戦を迎え、自らの生きる意味を見失っていたかこは、児童演劇を通して子どもたちとふれあい、これから生きる子どもたちの役に立つことに希望を見出した。こうした姿勢は、かこ

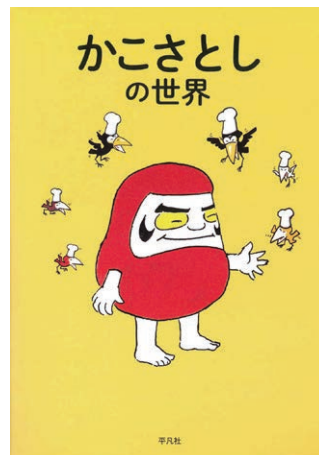
の絵本制作の原動力になっていた。

本展では、かこが少年時代に描いた絵や、創作の礎となったセツルメント(ボランティア福祉活動)時代の紙芝居、これまで発表されることのなかった絵本の原画や下絵などの貴重な作品と資料のほか、群馬県や館林にゆかりのあるモチーフを描いた作品も加え、160点を超える出品作品で、長きにわたるその創作の軌跡を辿った。

展示室内では、絵本を閲覧できるコーナーや、キャラクターのパネルや巨大なだるまちゃんだるまと撮影できるフオトスポットなども設置し、多くの方にかこさとしの世界をより楽しんでいただくことができた。



ポスター



図録



ジュニアガイド

## ◎出品目録

### プロローグ

作品名	制作年	出版社	所蔵
かこさとしの言葉（色紙）	1984		加古総合研究所
原っぱでかけっこ	1990年代		加古総合研究所
三人の子ども	1984		加古総合研究所

### 第1章 創作の原点

富士山	1942		加古総合研究所
『過去六年間を顧みて』	1938(出版2018)	偕成社	加古総合研究所
「そら豆が煮えるまで」舞台装置・設計製作図案	1947		加古総合研究所
「13本目の木」舞台装置・設計製作図案	1947		加古総合研究所
「肉体のかなしみ」舞台装置・設計再作図案	1947		加古総合研究所
「春嵐」舞台装置・設計製作図案	1946-47		加古総合研究所
自画像	1948		加古総合研究所
日雇老人の像	1958		加古総合研究所
幸せの歌	1958		加古総合研究所
紙芝居『おちていたてぶくろ』	1956		加古総合研究所
セツルメントの子どもが描いた絵	1950年代		加古総合研究所
子どもの絵の講評	1950年代		加古総合研究所
セツルメントの子どもが描いたかこの似顔絵	1950年代		加古総合研究所
絵を描く子	1950年代		加古総合研究所
絵を描く子	1950年代		加古総合研究所
紙芝居『どろぼう学校』	1960		加古総合研究所
おもちゃの国に朝が来た	1952		加古総合研究所
おもちゃの国に朝がきた<下絵>	1951-52		加古総合研究所
わっしょいわっしょいのおどり	1953		加古総合研究所
平和ばんざい 月ばんざい	1960		加古総合研究所

### 第2章 絵本作家として

『だむのおじさんたち』	1959	福音館書店	加古総合研究所
『かわ』	1962	福音館書店	加古総合研究所
『地球』下絵	1975	福音館書店	加古総合研究所
『宇宙』	1978	福音館書店	加古総合研究所
『大地のめぐみ 土の力大作戦』未使用の絵	2003	小峰書店	加古総合研究所
『海』未使用の絵	1969	福音館書店	加古総合研究所

### 第3章 だるまちゃんとからすのパンやさん

『だるまちゃんとからすのパンやさん』	1967	福音館書店	加古総合研究所
『だるまちゃんとからすのパンやさん』下絵	1967	福音館書店	加古総合研究所
『だるまちゃんとかみなりちゃん』	1968	福音館書店	加古総合研究所

作品名	制作年	出版社	所蔵
『だるまちゃんとかみなりちゃん』 下絵	1968	福音館書店	加古総合研究所
『だるまちゃんとうさぎちゃん』	1972	福音館書店	加古総合研究所
『だるまちゃんのとらのこちゃん』	1984	福音館書店	加古総合研究所
『だるまちゃんのだいこちゃん』	1991	福音館書店	加古総合研究所
『だるまちゃんとてんじんちゃん』	2003	福音館書店	加古総合研究所
『だるまちゃんをやまんめちゃん』	2006	福音館書店	加古総合研究所
『だるまちゃんをやまんめちゃん』 下絵	2006	福音館書店	加古総合研究所
『だるまちゃんとおうちちゃん』	2014	福音館書店	加古総合研究所
『だるまちゃんとかまどんちゃん』	2018	福音館書店	加古総合研究所
『だるまちゃんとはやたちちゃん』	2018	福音館書店	加古総合研究所
『だるまちゃんとキジムナちゃん』	2018	福音館書店	加古総合研究所
戦争妖雲打破！	2015 頃		加古総合研究所
だるまちゃんとかからすのパンやさん	2000 年代		加古総合研究所
『からすのパンやさん』	1973	偕成社	加古総合研究所
『からすのパンやさん』 下絵	1973	偕成社	加古総合研究所
からすのパンやさん一家	2011	偕成社	加古総合研究所
『からすのおかしやさん』	2013	偕成社	加古総合研究所
『からすのやおやさん』	2013	偕成社	加古総合研究所
『からすのてんぷらやさん』	2013	偕成社	加古総合研究所
『からすのそばやさん』	2013	偕成社	加古総合研究所
『かこさとし あそびの大惑星 7 ももくりチョコレートにあそび』	1991	農山漁村文化協会	加古総合研究所

#### 第 4 章 広がる絵本の世界

『ゆきのひ』	1966	福音館書店	加古総合研究所
『はははのはなし』	1970	福音館書店	加古総合研究所
『とこちゃんはどこ』	1970	福音館書店	加古総合研究所
『とこちゃんはどこ』 下絵	1970	福音館書店	加古総合研究所
『だいこんだんめん れんこんざんねん』	1984	福音館書店	加古総合研究所
『こまったこぐま こまったこりす』	1986	偕成社	加古総合研究所
『どろぼうがっこう』	1973	偕成社	加古総合研究所
『おたまじゃくしの101ちゃん』	1973	偕成社	加古総合研究所
『おたまじゃくしの101ちゃん』 幻灯下絵	1950 年代	偕成社	加古総合研究所
『コウノリのコウちゃん』	2017	小峰書店	加古総合研究所
『たつくんひろちゃんのちょうちょうとつきゅう』	1997	偕成社	加古総合研究所
『青いヌブキマの沼』	1980	偕成社	加古総合研究所
『まさかりどんが さあたいへん』	1984 1996	トモ企画 小峰書店	加古総合研究所
『かこさとし からだの本3 むしばミュージアタンスのぼうけん』	1976	童心社	加古総合研究所
『ならの大仏さま』	1985	福音館書店	加古総合研究所
『ならの大仏さま』 下絵	1985	福音館書店	加古総合研究所

#### 第 5 章 出発進行！里山トロッコ列車

『出発進行！里山トロッコ列車』	2016	偕成社	小湊鐵道
-----------------	------	-----	------

#### 第 6 章 美術への想い

切手コラージュのモナ・リザ	1992		加古総合研究所
---------------	------	--	---------

作品名	制作年	出版社	所蔵
『うつくしい絵』	1974	偕成社	加古総合研究所
『うつくしい絵』 かこによる模写 ピカソ《ゲルニカ》	1974	偕成社	加古総合研究所
『すばらしい彫刻』 ダミー本	1989	偕成社	加古総合研究所
ミロのヴィーナス	1948	偕成社	加古総合研究所
『こどものカレンダー』 名画の模写	1975	偕成社	加古総合研究所

#### エピソード

『みずとはなんじゃ?』	2018	小峰書店	加古総合研究所
-------------	------	------	---------

#### 特別展示 群馬・館林ゆかりの作品

『あそびの大惑星 こびととおとぎのくにのあそびき』(分福茶釜)	1991	農山漁村文化協会	加古総合研究所
『おたまじゃくしのしょうがっこう』(なまず)	2014	偕成社	加古総合研究所
『かぜのひのおはなし』	1998	小峰書店	加古総合研究所
『サン・サン・サンタ ひみつきち』	1986 / 2019	白泉社	加古総合研究所

## ◎印刷物・会場作成物

・図録 A6 判 (21.0 × 15.0 cm) 168 頁

内容：目次

はじめに

章解説、作品解説

かこさとしの絵本作り—子どもさんへのメッセージ  
(水木祥子)

かこさとし 伝えるために描く (林綾野)

玩具の朝再録 (かこさとし)

略年譜

主要文献一覧

掲載図版一覧

執筆：かこさとしの世界 プロジェクトチーム

林綾野 (アートキッチン)

水木祥子 (ひろしま美術館)

編集：林綾野

監修：加古総合研究所

装丁・アートディレクション：高橋歩

本文デザイン：伊藤力丸

発行：株式会社平凡社

発行日：2019 年 6 月 13 日

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 両観音折り、15.0 × 41.8 cm (仕上がりサイズ  
15.0 × 10.6 cm)

編集：群馬県立館林美術館、アートキッチン

協力：加古総合研究所

発行：群馬県立館林美術館

制作：株式会社グレートケー

・パネル

挨拶 1 枚、章解説 10 枚

・会場配布用作品リスト

## ◎主要関連記事

(長文記事は末尾に\*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[ 新聞等 ]

・朝日ぐんま

10.21

「だるまちゃんや、からすのパンやさんが大集合!ファン熱望の  
「かこさとしの世界展」12月25日まで 県立館林美術館」\*

11.25

「かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集  
合!」\*〈文化紀行〉(学芸員 熊谷ゆう子)

・朝日新聞

10.17

「かこさとしさん 作品・資料が集結 館林、12月25日まで展示」

\*

・広告新聞

両毛版 vol.1533

「館林市日向町 群馬県立館林美術館 かこさとしの世界展 だる  
まちゃんもからすのパンやさんも大集合!」

・上毛新聞

11.13

「館林で企画展 絵本「だるまちゃん」など 親しまれる作品の  
歩み」\*

11.17

「かこさんを語る 記念講演会」〈先どりピックアップ!〉

12.4

「「だるまちゃん」粘土で手作り 館林美術館」\*

12.13

「県立館林美術館 絵本作家・かこさとしさん企画展「子どもの  
ため」貫く 科学絵本や「だるまちゃん」原画」\*〈文化〉

12.27

「美術 閉塞感 展示で和らげる」〈回顧 2022〉

・東京新聞

12.17

「「だるまちゃん」や少年時代のスケッチも かこさとしさんの世  
界 160 作品展示」\*

[ 定期刊行物 ]

・月刊 bilick

10、11、12月号

「群馬県立館林美術館」〈ART & STAGE EVENT〉

・まま・ここと

2022 秋号 vol.50

「かこさとしの世界」〈FAMILY EVENT〉

・MOE

12月号

「かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集  
合!」

・Moteco 両毛版

10、11、12月号

「かこさとしの世界展」〈Event NEWS〉

・渡良瀬通信

10月号

「かこさとしの世界 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集

合!」〈今月の展覧会〉

〔Web〕

- ・アートアジェンダ
- ・ぐんま結婚応援パスポート

◎関連事業

- ・学芸員による作品解説会

10.26、12.10

- ・たてび☆キッズウォーク

10.22、11.19、12.17

- ・たてび☆びじゅつ部

10.29、12.3

「自分だけのだるまちゃんをつくろう」

- ・記念講演会

11.6

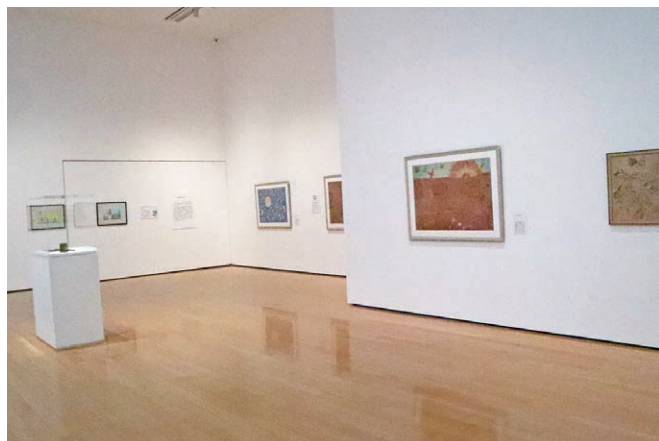
「かこさとしの世界」

講師：鈴木万里（加古総合研究所代表・かこさとし長女）

11.26

「かこ先生と絵本と鳥の巣の不思議」

講師：鈴木まもる（絵本作家・鳥の巣研究家）



展示室 4



展示室 2 読書コーナー



展示室 3



展示室 2 フォトスポット

## 4. 山中現展 描かれた詩

会期 令和5年1月28日(土)～4月2日(日)  
会場 展示室2、3、4  
主催 群馬県立館林美術館  
観覧料 一般620(490)円、大高生310(240)円  
( )内は、20名以上の団体割引料金

福島県喜多方市出身の山中現(1954-)は、現在日本で最も活躍している画家・版画家の1人である。

山中は、1974年に東京藝術大学美術学部油画科に入学し、在学中に、版画家であり版画史研究家としても知られる小野忠重(1909-1990)による版画の集中講義を受けたことがきっかけで、木版画を始めた。1980年前後より、白や黒、グレーを基調にした作品を生み出し、宇宙や夜を背景に、棒状のかたちをした有機体が登場するシリーズを発表した。そして、三次元的な空間の中で光と影を意識したそれらの作風は、作家のイメージを代表する世界観を構築した。しかし、山中の飽くなき創作意欲と探求心は、1980年代末頃から色彩の使用へ

と向かわせた。平坦な画面にごく単純な形体を配し、色とかたちによる静謐かつ詩情溢れる世界を表現するに至った。

当館は2021年に、県内の現代美術コレクターであるI氏より、327点の山中現作品の寄贈を一括して受ける機会に恵まれた。本展では、その「旧I氏コレクション」から厳選した作品約240点を初めてお披露目した。初期から近年までの木版画を中心に、油彩画、水彩画、ガラス絵も合わせて紹介し、多方面よりその作品世界の魅力に迫った。

本展に合わせ、作家より藤牧義夫へのオマージュ作品となる新作2点を提供頂いた。また、会期中には作家とコレクターによる記念対談「作家とコレクターが語る、作品やコレクションのこと」を開催した。



ポスター



リーフレット

◎出品目録

プロローグ

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横 cm）	所蔵
1	山中 現	窓辺	1975	木版・紙	12.2 × 10.1	群馬県立館林美術館
2	山中 現	風景	1979	木版・紙	12.0 × 17.4	群馬県立館林美術館
3	山中 現	もうひとつの場所	1980	木版・紙	36.5 × 50.4	群馬県立館林美術館
4	山中 現	流れ星	1981	木版・紙	49.1 × 36.5	群馬県立館林美術館
5	山中 現	F	1981	木版・紙	34.8 × 49.8	群馬県立館林美術館
6	山中 現	まど	1982	木版・紙	43.3 × 30.4	群馬県立館林美術館
7	山中 現	後に大きく	1982	木版・紙	15.4 × 22.8	群馬県立館林美術館
8	山中 現	KEMU	1982	木版・紙	14.8 × 22.8	群馬県立館林美術館
9	山中 現	ニョロニョロ	1982	木版・紙	15.4 × 22.7	群馬県立館林美術館
10	山中 現	7	1983	木版・紙	24.9 × 26.1	群馬県立館林美術館
11	山中 現	まど II	1983	木版・紙	38.8 × 27.8	群馬県立館林美術館
12	山中 現	まど III	1984	木版・紙	35.9 × 49.9	群馬県立館林美術館
13	山中 現	第五夜	1984	木版・紙	57.6 × 40.9	群馬県立館林美術館
14	山中 現	第九夜	1985	木版・紙	40.4 × 55.7	群馬県立館林美術館
15	山中 現	第十夜	1985	木版・紙	51.8 × 77.7	群馬県立館林美術館
16	山中 現	ミッドナイト	1985	木版・紙	25.0 × 16.8	群馬県立館林美術館
17	山中 現	月の光	1985	木版・紙	11.0 × 17.4	群馬県立館林美術館
18	山中 現	影の国 II	1985	木版・紙	32.3 × 23.2	群馬県立館林美術館
19	山中 現	ナイトエアー（夜の息）	1985	木版・紙	26.8 × 39.9	群馬県立館林美術館
20	山中 現	ナイトエアー（夜の息）	1985	木版・紙	26.8 × 39.9	群馬県立館林美術館
21	山中 現	ケムリ	1985	木版・紙	25.5 × 16.3	群馬県立館林美術館
22	山中 現	N II	1985	木版・紙	51.2 × 39.5	群馬県立館林美術館
23	山中 現	夜に	1985	木版・紙	19.9 × 14.9	群馬県立館林美術館
24	山中 現	幼年時代の思い出 IV	1986	木版・紙	40.2 × 27.0	群馬県立館林美術館
25	山中 現	夜に II	1986	木版・紙	24.9 × 17.0	群馬県立館林美術館
26	山中 現	夜話 I	1986	木版・紙	52.7 × 40.3	群馬県立館林美術館
27	山中 現	星夜 IV	1987	木版・紙	67.5 × 47.8	群馬県立館林美術館
28	山中 現	影 I	1987	木版・紙	41.9 × 26.7	群馬県立館林美術館
29	山中 現	夜と夜 2	1987	木版・紙	36.2 × 49.7	群馬県立館林美術館
30	山中 現	夢の情景	1988	木版・紙	24.5 × 38.8	群馬県立館林美術館
31	山中 現	星の道	1989	木版・紙	42.7 × 31.8	群馬県立館林美術館
32	山中 現	夢の入り口	1989	木版・紙	33.1 × 21.1	群馬県立館林美術館

第2章 1990年代 —光から色彩へ—

33	山中 現	ユメノチカラ II	1990	木版・紙	56.1 × 38.0	群馬県立館林美術館
34	山中 現	ユメノチカラ III	1990	木版・紙	52.0 × 39.6	群馬県立館林美術館
35	山中 現	跡	1990	木版・紙	27.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
36	山中 現	景	1990	木版・紙	36.9 × 22.8	群馬県立館林美術館
37	山中 現	宙	1990	木版・紙	34.2 × 22.9	群馬県立館林美術館
38	山中 現	春 I	1991	木版・紙	12.5 × 9.1	群馬県立館林美術館



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横 cm）	所蔵
39	山中 現	春 IV	1991	木版・紙	13.3 × 10.7	群馬県立館林美術館
40	山中 現	かげのかたち II	1991	木版・紙	32.9 × 21.4	群馬県立館林美術館
41	山中 現	空の記憶	1991	木版・紙	34.0 × 25.0	群馬県立館林美術館
42	山中 現	秋の日	1991	木版・紙	36.8 × 22.4	群馬県立館林美術館
43	山中 現	二つのかたち	1991	木版・紙	24.4 × 34.8	群馬県立館林美術館
44	山中 現	星座 III	1992	木版・紙	18.9 × 35.8	群馬県立館林美術館
45	山中 現	二つの時	1993	木版・紙	48.6 × 60.7	群馬県立館林美術館
46	山中 現	地のかたち	1994	木版・紙	48.8 × 62	群馬県立館林美術館
47	山中 現	空のかたち	1994	木版・紙	76.8 × 47.8	群馬県立館林美術館
48	山中 現	カタチノアツマルバシヨ	1994	木版・紙	24.8 × 35.3	群馬県立館林美術館
49-1	山中 現	路	1995	木版・紙	11.3 × 15.7	群馬県立館林美術館
49-2	山中 現	跡	1995	木版・紙	11.3 × 15.8	群馬県立館林美術館
50	山中 現	緑影	1995	木版・紙	22.0 × 33.2	群馬県立館林美術館
51	山中 現	ユノフタツノカタチ	1995	木版・紙	23.0 × 33.2	群馬県立館林美術館
52	山中 現	茶色の道	1995	木版・紙	35.1 × 45.1	群馬県立館林美術館
53	山中 現	三つのトビラ	1995	木版・紙	35.8 × 50.5	群馬県立館林美術館
54	山中 現	夜の灯	1996	木版・紙	44.6 × 47.9	群馬県立館林美術館
55	山中 現	春のかたち I	1997	木版・紙	14.9 × 9.5	群馬県立館林美術館
56	山中 現	春のかたち II	1997	木版・紙	15.0 × 9.6	群馬県立館林美術館
57	山中 現	茶色のかたち I	1997	木版・紙	14.9 × 9.8	群馬県立館林美術館
58	山中 現	空と石 III	1997	木版・紙	47.1 × 36.5	群馬県立館林美術館
59	山中 現	ミドリノカタチ	1997	木版・紙	36.7 × 46.9	群馬県立館林美術館
60	山中 現	黄色の雲	1997	木版・紙	35.5 × 48.0	群馬県立館林美術館
61	山中 現	青のかたち	1997	木版・紙	22.3 × 25.2	群馬県立館林美術館
62	山中 現	ひとつのかたち	1997	エッチング・紙	6.7 × 7.4	群馬県立館林美術館
63	山中 現	あるかたち	1997	エッチング・紙	7.7 × 9.6	群馬県立館林美術館
64	山中 現	雨	1997	エッチング・紙	6.8 × 6.9	群馬県立館林美術館
65	山中 現	影のみる夢	1998	木版・紙	14.5 × 10.3	群馬県立館林美術館
66	山中 現	二つの空	1998	木版・紙	15.9 × 19.1	群馬県立館林美術館
67	山中 現	二つの水色	1998	木版・紙	30.5 × 22.5	群馬県立館林美術館
68	山中 現	帯	1998	木版・紙	36.9 × 47.4	群馬県立館林美術館
69	山中 現	水平線とかたち	1998	木版・紙	36.8 × 47.4	群馬県立館林美術館
70	山中 現	白の場所	1998	木版・紙	36.7 × 41.4	群馬県立館林美術館
71	山中 現	水色のかたち	1998	木版・紙	36.8 × 47.5	群馬県立館林美術館
72-1	山中 現	黄色の雲	1998	木版・紙	30.3 × 22.2	群馬県立館林美術館
72-2	山中 現	雲の輪郭	1998	木版・紙	30.5 × 22.4	群馬県立館林美術館
72-3	山中 現	遠い雲	1998	木版・紙	24.2 × 34.9	群馬県立館林美術館
73	山中 現	影	1998	ドライポイント・紙	9.7 × 7.1	群馬県立館林美術館
74-1	山中 現	宙に向かって	1998	ドライポイント・紙	9.7 × 4.0	群馬県立館林美術館
74-2	山中 現	彼方	1998	ドライポイント・紙	9.7 × 10.4	群馬県立館林美術館
74-3	山中 現	絆	1998	ドライポイント・紙	6.6 × 4.5	群馬県立館林美術館
74-4	山中 現	夢の種子	1998	ドライポイント・紙	7.8 × 9.6	群馬県立館林美術館
74-5	山中 現	遠い郷	1998	ドライポイント・紙	9.7 × 8.8	群馬県立館林美術館
74-6	山中 現	春	1998	ドライポイント・紙	9.7 × 7.1	群馬県立館林美術館
74-7	山中 現	それぞれの刻	1998	ドライポイント・紙	9.8 × 9.7	群馬県立館林美術館
74-8	山中 現	蘇えるかたち	1998	ドライポイント・紙	6.6 × 4.9	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横 cm）	所蔵
75	山中 現	ひとつのかげ	1999	木版・紙	10.1 × 14.1	群馬県立館林美術館
76	山中 現	古い夜	1999	木版・紙	13.6 × 13.0	群馬県立館林美術館
77	山中 現	ひとつの道	1999	木版・紙	13.5 × 13.0	群馬県立館林美術館
78	山中 現	ひとつの白	1999	木版・紙	30.0 × 24.2	群馬県立館林美術館
79	山中 現	白の領域	1999	木版・紙	33.4 × 47.5	群馬県立館林美術館
80	山中 現	冬の静物	1999	木版・紙	33.2 × 47.5	群馬県立館林美術館
81	山中 現	ひとつの星	1999	ドライポイント・紙	9.7 × 5.5	群馬県立館林美術館
82	山中 現	ひとつのかたち	1999	ドライポイント・紙	9.7 × 4.2	群馬県立館林美術館
83	山中 現	二つのかたち	1999	ドライポイント・紙	9.8 × 7.3	群馬県立館林美術館
84	山中 現	二つの石	1999	ドライポイント・紙	7.7 × 9.6	群馬県立館林美術館
85	山中 現	窓のある家	1999	ドライポイント・紙	7.7 × 9.7	群馬県立館林美術館
86-1	山中 現	薄日	1999	ドライポイント・紙	12.5 × 9.6	群馬県立館林美術館
86-2	山中 現	慈雨	1999	ドライポイント・紙	12.7 × 9.8	群馬県立館林美術館
86-3	山中 現	未生	1999	ドライポイント・紙	12.5 × 9.6	群馬県立館林美術館
86-4	山中 現	流	1999	ドライポイント・紙	9.6 × 12.5	群馬県立館林美術館
86-5	山中 現	雲	1999	ドライポイント・紙	9.7 × 12.5	群馬県立館林美術館
86-6	山中 現	生	1999	ドライポイント・紙	9.7 × 12.6	群馬県立館林美術館

### 第3章 油彩・水彩・ガラス絵 —かたちを求めて—

87	山中 現	四つの場所	1998	油彩・カンヴァス	45.4 × 37.9	群馬県立館林美術館
88	山中 現	風の場所 I	1998	アクリル、油彩・ガラス	6.5 × 8.3	群馬県立館林美術館
89	山中 現	青のかたち	1998	アクリル、油彩・ガラス	7.3 × 10.8	群馬県立館林美術館
90	山中 現	二つの黄色	1999	アクリル、油彩・ガラス	9.3 × 13.0	群馬県立館林美術館
91	山中 現	黄色のかたち	2000	アクリル、油彩・ガラス	9.3 × 12.2	群馬県立館林美術館
92	山中 現	三つの赤	2000	アクリル、油彩・ガラス	8.2 × 12.5	群馬県立館林美術館
93	山中 現	ひとつのみどり	2006	アクリル、油彩・ガラス	14.2 × 9.2	群馬県立館林美術館
94	山中 現	冬の日	2006	アクリル、油彩・ガラス	9.2 × 14.2	群馬県立館林美術館
95	山中 現	ひとつの茶色	2006	アクリル、油彩・ガラス	14.2 × 9.2	群馬県立館林美術館
96	山中 現	時のかたち	2007	油彩・カンヴァス	41.0 × 31.7	群馬県立館林美術館
97	山中 現	イロイロナカタチ	1993	水彩、コラーージュ・紙	23.7 × 33.1	群馬県立館林美術館
98	山中 現	カゼノミエルバシヨ I	1994	水彩、コラーージュ・紙	22.7 × 38.2	群馬県立館林美術館
99	山中 現	黒の場所	1996	水彩、コラーージュ・紙	23.9 × 36.3	群馬県立館林美術館

### 第4章 2000年代 —詩情（ポエジー）の生成—

100	山中 現	雲の記号	2000	木版・紙	49.2 × 63.0	群馬県立館林美術館
101	山中 現	みどりのかたち	2000	木版・紙	62.6 × 49.4	群馬県立館林美術館
102	山中 現	水の場所	2000	木版・紙	33.4 × 47.5	群馬県立館林美術館
103	山中 現	影の星座	2000	木版・紙	33.6 × 47.1	群馬県立館林美術館
104	山中 現	一つの影と一つの窓	2000	木版・紙	33.3 × 42.4	群馬県立館林美術館
105	山中 現	五つの記憶	2000	木版・紙	48.4 × 30.0	群馬県立館林美術館
106	山中 現	はなれる黄色	2000	木版・紙	28.9 × 42.2	群馬県立館林美術館
107	山中 現	星と石	2000	木版・紙	52.0 × 45.4	群馬県立館林美術館
108	山中 現	ひとつのかたち	2000	木版・紙	52.2 × 45.4	群馬県立館林美術館
109	山中 現	空の線	2000	木版・紙	52.3 × 45.5	群馬県立館林美術館
110	山中 現	カゲノカタチ	2000	ドライポイント・紙	20.5 × 14.5	群馬県立館林美術館
111	山中 現	路	2000	ドライポイント・紙	14.5 × 20.5	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横 cm）	所蔵
112	山中 現	赤のかたち	2000	木版・紙	31.2 × 24.2	群馬県立館林美術館
113	山中 現	星の時	2001	木版・紙	19.9 × 15.0	群馬県立館林美術館
114	山中 現	ひとつの水	2001	木版・紙	30.3 × 21.2	群馬県立館林美術館
115	山中 現	いくつかの水	2001	木版・紙	30.2 × 22.2	群馬県立館林美術館
116	山中 現	葉	2001	木版・紙	12.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
117	山中 現	葉	2002	木版・紙	12.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
118	山中 現	葉	2002	木版・紙	12.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
119	山中 現	二つのかたち	2001	木版・紙	16.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
120	山中 現	ひとつのみどり	2001	木版・紙	23.8 × 32.7	群馬県立館林美術館
121	山中 現	夢の家	2001	ドライポイント・紙	7.7 × 9.6	群馬県立館林美術館
122	山中 現	雨	2001	ドライポイント・紙	9.5 × 7.7	群馬県立館林美術館
123	山中 現	かげとかたち	2001	ドライポイント・紙	12.8 × 9.8	群馬県立館林美術館
124	山中 現	五つのかたち	2001	ドライポイント・紙	14.8 × 11.3	群馬県立館林美術館
125	山中 現	星の卓子（テーブル）	2001	ドライポイント・紙	7.8 × 9.6	群馬県立館林美術館
126	山中 現	地平線とかたち	2001	ドライポイント・紙	7.6 × 9.6	群馬県立館林美術館
127	山中 現	一つの意味	2001	ドライポイント・紙	9.6 × 7.6	群馬県立館林美術館
128	山中 現	二つの家	2001	ドライポイント・紙	12.6 × 9.7	群馬県立館林美術館
129	山中 現	大地の信号	2002	木版・紙	20.0 × 14.9	群馬県立館林美術館
130	山中 現	二つの夢	2002	木版・紙	15.5 × 22.9	群馬県立館林美術館
131	山中 現	あいだのかたち	2002	木版・紙	15.0 × 19.9	群馬県立館林美術館
132	山中 現	二つの茶色	2002	木版・紙	30.5 × 22.4	群馬県立館林美術館
133	山中 現	窓	2002	木版・紙	30.5 × 22.2	群馬県立館林美術館
134	山中 現	二つの円	2002	木版・紙	22.9 × 32.8	群馬県立館林美術館
135	山中 現	三つの茶色	2002	木版・紙	22.9 × 32.7	群馬県立館林美術館
136	山中 現	星の在る場所	2002	木版・紙	15.9 × 23.5	群馬県立館林美術館
137	山中 現	星の時	2002	木版・紙	33.5 × 47.3	群馬県立館林美術館
138	山中 現	星と静物	2002	木版・紙	48.2 × 31.9	群馬県立館林美術館
139	山中 現	星影	2002	木版・紙	33.3 × 47.2	群馬県立館林美術館
140	山中 現	この中に	2002	ドライポイント・紙	9.6 × 7.7	群馬県立館林美術館
141	山中 現	四つのかたち	2002	ドライポイント・紙	12.7 × 9.6	群馬県立館林美術館
142	山中 現	降りて来た月	2002	ドライポイント・紙	9.7 × 12.5	群馬県立館林美術館
143	山中 現	対峙	2002	ドライポイント・紙	9.7 × 12.5	群馬県立館林美術館
144	山中 現	水のかたち	2003	木版・紙	15.7 × 20.5	群馬県立館林美術館
145	山中 現	雲の在る場所	2003	木版・紙	47.5 × 31.6	群馬県立館林美術館
146	山中 現	遠い屋根	2003	木版・紙	47.7 × 31.7	群馬県立館林美術館
147	山中 現	窓辺	2003	木版・紙	30.4 × 22.4	群馬県立館林美術館
148	山中 現	夜	2003	木版・紙	16.0 × 21.0	群馬県立館林美術館
149	山中 現	10月	2003	木版・紙	15.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
150	山中 現	風の木	2002	ドライポイント・紙	12.6 × 9.6	群馬県立館林美術館
151	山中 現	記憶の家	2002	ドライポイント・紙	12.7 × 15.6	群馬県立館林美術館
152	山中 現	遠い空	2002	ドライポイント・紙	20.5 × 14.7	群馬県立館林美術館
153	山中 現	起き上がる水	2002	ドライポイント・紙	12.6 × 15.5	群馬県立館林美術館
154-1	山中 現	水の庭	2003	木版・紙	19.5 × 21.1	群馬県立館林美術館
154-2	山中 現	雲の静物	2003	木版・紙	28.8 × 13.1	群馬県立館林美術館
154-3	山中 現	影の旅	2003	木版・紙	28.6 × 21.0	群馬県立館林美術館
154-4	山中 現	大地の音	2003	木版・紙	28.7 × 13.2	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横 cm）	所蔵
154-5	山中 現	空の種	2003	木版・紙	28.8 × 23.3	群馬県立館林美術館
154-6	山中 現	星の果実	2003	木版・紙	28.5 × 21.0	群馬県立館林美術館
154-7	山中 現	石の声	2003	木版・紙	28.8 × 21.0	群馬県立館林美術館
154-8	山中 現	時の河	2003	木版・紙	28.8 × 21.0	群馬県立館林美術館
155	山中 現	夜のかたち	2004	木版・紙	48.2 × 32.0	群馬県立館林美術館
156	山中 現	黄色のとなり	2004	木版・紙	19.8 × 15.0	群馬県立館林美術館
157	山中 現	夜の樹	2004	木版・紙	16.0 × 21.0	群馬県立館林美術館
158	山中 現	夜の影	2004	木版・紙	30.5 × 22.2	群馬県立館林美術館
159	山中 現	黄色の十字	2004	木版・紙	30.5 × 22.4	群馬県立館林美術館
160	山中 現	天の配列	2004	木版・紙	30.4 × 22.3	群馬県立館林美術館
161	山中 現	空に映る影	2004	木版・紙	30.3 × 22.2	群馬県立館林美術館
162	山中 現	星の見える場所	2004	木版・紙	33.2 × 45.0	群馬県立館林美術館
163	山中 現	いくつかの窓	2004	木版・紙	48.3 × 31.9	群馬県立館林美術館
164	山中 現	大きな石と小さな石	2004	木版・紙	33.4 × 47.0	群馬県立館林美術館
165	山中 現	ひとつのひかり	2005	木版・紙	30.5 × 22.5	群馬県立館林美術館
166	山中 現	ふたつのかげ	2005	木版・紙	47.6 × 36.4	群馬県立館林美術館
167	山中 現	小さな星	2005	木版・紙	21.9 × 33.1	群馬県立館林美術館
168	山中 現	陰の刻	2005	木版・紙	52.1 × 45.5	群馬県立館林美術館
169	山中 現	陰の刻	2005	木版・紙	52.2 × 45.4	群馬県立館林美術館
170	山中 現	星の信号	2005	木版・紙	51.8 × 49.8	群馬県立館林美術館
171	山中 現	ノコサレタキイロ	2005	木版・紙	36.6 × 47.5	群馬県立館林美術館
172	山中 現	未生	2005	木版・紙	36.7 × 47.5	群馬県立館林美術館
173	山中 現	星のかげら	2006	木版・紙	14.8 × 22.4	群馬県立館林美術館
174	山中 現	ふたつの位置	2006	木版・紙	34.8 × 24.8	群馬県立館林美術館
175	山中 現	夢のかたち	2006	木版・紙	48.7 × 36.6	群馬県立館林美術館
176	山中 現	星と石と	2006	木版・紙	48.9 × 36.3	群馬県立館林美術館
177	山中 現	対峙	2006	木版・紙	48.9 × 36.5	群馬県立館林美術館
178	山中 現	星座のために	2006	木版・紙	51.0 × 36.5	群馬県立館林美術館
179	山中 現	白の場所から	2006	木版・紙	48.8 × 36.5	群馬県立館林美術館
180	山中 現	この場所	2006	木版・紙	48.8 × 36.5	群馬県立館林美術館
181	山中 現	七つの色	2008	木版・紙	15.3 × 10.2	群馬県立館林美術館
182	山中 現	塔	2008	木版・紙	15.3 × 10.2	群馬県立館林美術館
183	山中 現	流	2008	木版・紙	15.3 × 10.2	群馬県立館林美術館
184	山中 現	月の推移	2008	木版・紙	15.3 × 10.2	群馬県立館林美術館
185	山中 現	空の方へ	2008	木版・紙	24.5 × 35.1	群馬県立館林美術館
186	山中 現	光の場所で	2008	木版・紙	24.5 × 35.3	群馬県立館林美術館
187	山中 現	風の日	2008	木版・紙	24.5 × 35.3	群馬県立館林美術館
188	山中 現	ある日	2008	木版・紙	24.5 × 35.3	群馬県立館林美術館
189	山中 現	彼方	2008	木版・紙	24.5 × 35.3	群馬県立館林美術館
190	山中 現	遙か	2008	木版・紙	48.5 × 36.2	群馬県立館林美術館
191	山中 現	遠い場所	2008	木版・紙	48.7 × 36.3	群馬県立館林美術館
192	山中 現	ひとつの赤	2008	ドライポイント・紙	9.8 × 12.8	群馬県立館林美術館
193	山中 現	遠くまで	2009	木版・紙	26.9 × 35.2	群馬県立館林美術館
194	山中 現	そのほかに	2009	木版・紙	34.6 × 24.7	群馬県立館林美術館
195	山中 現	空の日	2009	木版・紙	9.8 × 9.8	群馬県立館林美術館
196	山中 現	ヒカリノカタチ	2009	木版・紙	9.8 × 9.8	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横 cm）	所蔵
197	山中 現	旅の途中	2009	ドライポイント・紙	10.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
198	山中 現	この場所から	2009	ドライポイント・紙	9.8 × 12.8	群馬県立館林美術館
199	山中 現	再会	2009	エッチング・紙	9.8 × 7.8	群馬県立館林美術館
200	山中 現	邂逅	2009	エッチング・紙	11.7 × 9.8	群馬県立館林美術館
201	山中 現	星の言葉	2009	エッチング・紙	9.8 × 7.7	群馬県立館林美術館
202	山中 現	星の話	2009	エッチング・紙	11.2 × 9.3	群馬県立館林美術館
203	山中 現	星への旅	2009	ドライポイント・紙	12.9 × 9.8	群馬県立館林美術館
204	山中 現	三つの星と	2009	ドライポイント・紙	12.9 × 10.0	群馬県立館林美術館

## 第5章 2010年代以降 ―夢の向こうに―

205	山中 現	眠りにつく頃	2011	木版・紙	34.6 × 25.0	群馬県立館林美術館
206	山中 現	ヒカリノバショデ	2011	木版・紙	17.9 × 15.5	群馬県立館林美術館
207	山中 現	白の領域	2011	木版・紙	48.4 × 36.1	群馬県立館林美術館
208	山中 現	星の配列	2011	木版・紙	48.5 × 36.1	群馬県立館林美術館
209	山中 現	茶色の屋根	2011	木版・紙	23.0 × 28.8	群馬県立館林美術館
210	山中 現	茶色の窓	2011	木版・紙	23.0 × 28.9	群馬県立館林美術館
211	山中 現	この星の下で	2011	木版・紙	28.8 × 23.0	群馬県立館林美術館
212	山中 現	空の刻	2011	木版・紙	29.0 × 23.0	群馬県立館林美術館
213	山中 現	黒の時	2011	木版・紙	35.6 × 24.9	群馬県立館林美術館
214	山中 現	星のゆくえ	2011	木版・紙	18.0 × 15.5	群馬県立館林美術館
215	山中 現	石を集める	2011	木版・紙	18.1 × 15.5	群馬県立館林美術館
216	山中 現	いつもの場所で -Gray	2011	木版・紙	17.9 × 15.4	群馬県立館林美術館
217	山中 現	いつもの場所で -Brown	2011	木版・紙	18.1 × 15.4	群馬県立館林美術館
218	山中 現	夢の街で	2011	木版・紙	22.8 × 16.0	群馬県立館林美術館
219	山中 現	帰路	2011	木版・紙	22.7 × 15.9	群馬県立館林美術館
220	山中 現	往路	2011	木版・紙	22.7 × 16.0	群馬県立館林美術館
221	山中 現	face I	2011	木版・紙	9.7 × 9.9	群馬県立館林美術館
222	山中 現	face II	2011	木版・紙	15.7 × 10.3	群馬県立館林美術館
223	山中 現	S氏のために	2017	木版・紙	19.2 × 11.5	群馬県立館林美術館
224	山中 現	F氏のために 黒	2022	木版・紙	15.6 × 10.7	群馬県立館林美術館
225	山中 現	F氏のために 青	2022	木版・紙	15.7 × 10.9	群馬県立館林美術館

## 参考出品

226	清宮質文	蝶	1963	木版・紙	24.7 × 22.2	群馬県立館林美術館 寄託
227	藤牧義夫	しねま	1932	木版・紙	15.3 × 11.4	群馬県立館林美術館

## 資料

228	山中 現	《F氏のために 黒》の版木	2022	木	24.0 × 18.0	群馬県立館林美術館
229	山中 現	《F氏のために 青》の版木	2022	木	24.0 × 18.0	群馬県立館林美術館
230	坪内稔典（監修）、 山中 現（絵）	『詩のえほん 絵といっしょに読む 国語の絵本3』くもん出版	2013	絵本	30.4 × 21.8	群馬県立館林美術館
231	坪内稔典（監修）、 山中 現（絵）	『漢詩のえほん 絵といっしょに読む 国語の絵本4』くもん出版	2013	絵本	30.4 × 21.8	群馬県立館林美術館
232	内田麟太郎（文）、 山中 現（絵）	『こもりうた』くもん出版	2016	絵本	20.0 × 20.0	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横 cm）	所蔵
233	新美南吉（文）、 山中 現（絵）	『ついていったちようちよう（国語が楽しくなる新美南吉絵童話集）』星の環会	2016	絵本	26.5 × 21.5	群馬県立館林美術館
234	立原道造（詩）、 山中 現（画）	『雲の祭日』玲風書房	2015	書籍	26.8 × 23.0	群馬県立館林美術館
235	山中 現	『きたのまち』不忍画廊	2022	絵本	24.0 × 21.0	群馬県立館林美術館
236	谷川俊太郎（詩）、 山中 現（画）	『アトリエに来たコトバ ー詩画集 minimal ー』玲風書房	2022	書籍	17.5 × 19.5	群馬県立館林美術館
237	谷川俊太郎（詩）、 後藤真理子（編）	『絵の内と外 谷川俊太郎の世界を描く』講談社	2022	書籍	17.5 × 19.5	群馬県立館林美術館
238	清水邦夫	『風鳥』文藝春秋	1993	書籍	19.5 × 13.9	群馬県立館林美術館
239	大江健三郎	『「伝える言葉」プラス』朝日新聞出版	2010	書籍	14.8 × 10.6	群馬県立館林美術館
240	長倉三郎	『「複眼的思考」ノススメ』くもん出版	2011	書籍	19.5 × 13.5	群馬県立館林美術館
241		『山中現木版画展』喜多方市美術館	2001	書籍	29.6 × 21.4	群馬県立館林美術館
242		『山中現展 夢の領域』福島県立美術館	2010	書籍	21.0 × 15.2	群馬県立館林美術館
243		『山中現展 星の記憶』喜多方市美術館	2021	書籍	29.8 × 21.8	群馬県立館林美術館
244		『山中現 全版画集 1976-1993』アート・ギャラリー タピエス	1994	書籍	29.7 × 21.2	群馬県立館林美術館
245		『山中現 作品集 1994-1995』アート・ギャラリー タピエス	1995	書籍	21.7 × 30.2	群馬県立館林美術館
246		『山中現 作品集 “SCENE... ne...”』Galleria Col	2007	書籍	28.6 × 21.6	群馬県立館林美術館
247		『山中現 全版画 星と夢 1975-2020』阿部出版	2020	書籍	29.6 × 22.3	群馬県立館林美術館

## ◎印刷物・会場作成物

・ポスター B2

・チラシ A4

・リーフレット B5判 24頁

内容：「ごあいさつ」（佐々木正直）

「出発点にいた画家」（山中現）

図版

第1章 初期・1980年代 —光と影の時—

第2章 1990年代 —光から色彩へ—

第3章 油彩・水彩・ガラス絵 —かたちを求めて—

第4章 2000年代 —詩情（ポエジー）の生成—

第5章 2010年代以降 —夢の向こうに—

銅版画（ドライポイント／エッチング）

「詩を描くということ — 群馬県立館林美術館と山中現 —」（野澤広紀）

年譜

主要参考文献

編集・発行：群馬県立館林美術館

執筆：山中現

解説執筆：野澤広紀（群馬県立館林美術館）

制作：株式会社 erA

印刷：株式会社東京印書館

発行日：2023年1月28日

・パネル

挨拶1枚、作者のコメント1枚、肖像写真パネル1枚、章解説5枚、年表1枚、会場配布用作品リスト

## ◎主要関連記事

（長文記事は末尾に\*、県内媒体の情報のみの記事は省略）

[新聞等]

・朝日ぐんま

3.24

「山中現展—描かれた詩—」〈EVENT〉

・上毛新聞

2.16

「県立館林美術館「山中現展 描かれた詩」より⑤《星夜Ⅳ》

\*〈アートを楽しむ〉（学芸員 野澤広紀）

2.23

「県立館林美術館「山中現展 描かれた詩」より⑥《ひとつの水》」\*〈アートを楽しむ〉（学芸員 野澤広紀）

3.2

「県立館林美術館「山中現展 描かれた詩」より⑦《空の日》」

\*〈アートを楽しむ〉（学芸員 野澤広紀）

3.21

「山中現さん作品 240点を初公開 穏やかな風合いの作品が並ぶ企画展 来月2日まで 県立館林美術館で版画、絵画」\*〈文化〉

・読売新聞

2.18

「館林「山中現展 描かれた詩」〈イベントガイド〉

3.8

「木版画の奥深さ 山中現さん作品展「描かれた詩」群馬県立館林美術館」\*〈文化〉

・タウンぐんま 東毛版

2.3

「山中現展 描かれた詩」〈展覧会〉

[定期刊行物]

・アートコレクターズ

2月号

「山中現展 描かれた詩」〈今月の展覧会ガイド〉

・ギャラリー

2023 vol.1

「山中現展 描かれた詩」

・月刊美術

2月号

「山中現展 描かれた詩」〈展覧会情報〉

・美術の窓

12月号

「山中現展 描かれた詩」〈展覧会ダイジェスト日本全国 200〉

3月号

「山中現展 描かれた詩」〈美術館〉

・月刊 bilick

1、2、3、4月号

「群馬県立館林美術館」〈ART & STAGE EVENT〉

・まま・ここっと

2023 冬号 vol.51

「たてび☆びじゅつ部 プラ板でキーホルダーを作ろう」

〈FAMILY EVENT〉

・Moteco 両毛版

1、2、3月号

「山中現展 描かれた詩」〈Event NEWS〉

◎関連事業

3.4

- ・記念対談「作家とコレクターが語る、作品やコレクションのこと」

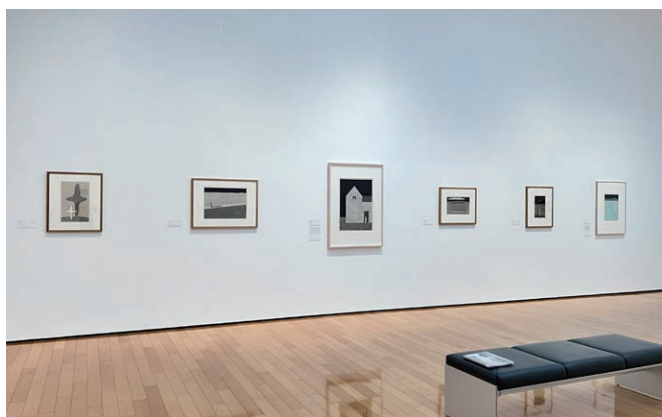
講師：山中現氏、飯野光夫氏（I氏コレクション）

2.25、3.18

- ・たてび☆びじゅつ部「プラ板でキーホルダーを作ろう」

2.9、3.11

- ・学芸員による作品解説会



展示室 2



展示室 2



展示室 3



展示室 4



## C. コレクション展示記録

第1期 令和4年4月23日(土)～6月26日(日)

展示室1

「近現代の彫刻I「抽象彫刻」を見てみよう」

---

第2期 令和4年7月16日(土)～9月19日(月・祝)

展示室1

「近現代の彫刻II 人物の表現・動物の表現」

---

第3期 令和4年10月8日(土)～12月25日(日)

展示室1

「特集展示 フランソワ・ボンボン」

---

第4期 令和5年1月28日(土)～4月2日(日)

展示室1

「近現代の彫刻III 触感を想像しながら」

---

### ◎印刷物・会場作成物

「近現代の彫刻I「抽象彫刻」を見てみよう」

- ・パネル1枚
- ・会場配布用作品リスト

「近現代の彫刻II 人物の表現・動物の表現」

- ・パネル1枚
- ・会場配布用作品リスト

「特集展示 フランソワ・ボンボン」

- ・パネル1枚、解説パネル1枚、  
写真パネル3枚
- ・会場配布用作品リスト

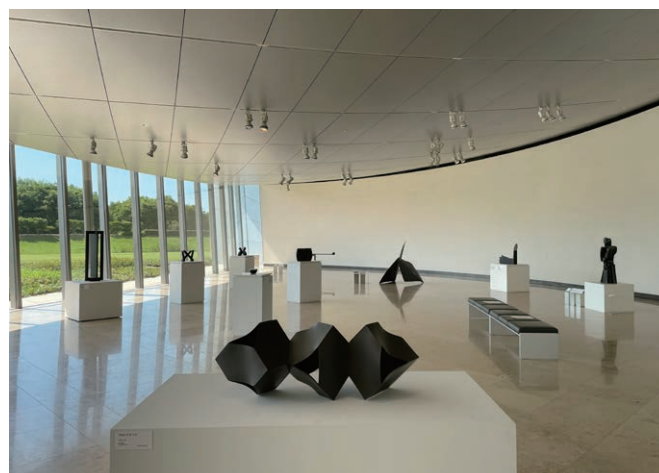
「近現代の彫刻III 触感を想像しながら」

- ・パネル1枚
- ・会場配布用作品リスト

◎出品目録

近現代の彫刻Ⅰ 「抽象彫刻」を見てみよう

令和4年4月23日(土)～6月26日(日)  
展示室1



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横／ 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵
1	スタン・アンダソン	立体作品	不詳	樹皮、木、動物の骨	186.0 × 136.0 × 100.0	群馬県立館林美術館寄託
2	スタン・アンダソン	紙漉き作品 4	不詳	樹皮、木	110.0 × 147.0 × 15.0	群馬県立館林美術館寄託
3	スタン・アンダソン	紙漉き作品 5	不詳	樹皮、蛇皮、木	135.0 × 65.0 × 7.0	群馬県立館林美術館寄託
4	伊藤博敏	ZIP STONE Metal Age	2013	自然石・ファスナー・ステンレス球	12.0 × 13.0 × 7.5	群馬県立館林美術館寄託 (I氏コレクション)
5	勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0 × 53.0 × 48.0	群馬県立館林美術館寄託
6	和南城孝志	Archetypus 空間への旅Ⅰ	1979	ブロンズ	12.0 × 35.0 × 35.0	群馬県立館林美術館 (和南城洋子氏寄贈)
7	和南城孝志	Archetypus 円のイメージⅠ	1981	ベルギー産黒大理石	20.0 × 50.0 × 50.0	群馬県立館林美術館 (和南城洋子氏寄贈)
8	和南城孝志	Archetypus 空間への旅Ⅱ	1983	ブロンズ、錫	10.0 × 30.0 × 30.0	群馬県立館林美術館 (和南城洋子氏寄贈)
9	ブルーノ・ロメダ	純粋な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館
10	森亮太	石の鼓動	1980	黒大理石	8.0 × 19.5 × 14.0	群馬県立館林美術館 (森猛氏寄贈)
11	森亮太	二つの突起	1982	黒御影石	27.0 × 55.0 × 17.0	群馬県立館林美術館 (飯田秀夫氏寄贈)
12	森亮太	座標	1988	黒御影石	27.5 × 27.0 × 14.0	群馬県立館林美術館 (森とみ子氏寄贈)
13	森亮太	風の扉	1987	黒御影石	101.0 × 34.5 × 31.0	群馬県立館林美術館 (森とみ子氏寄贈)
14	森亮太	波	1990	黒御影石	33.0 × 51.0 × 8.0	群馬県立館林美術館 (柴田留理子氏寄贈)
15	清水怔博	image of Mr.S-B	1996	陶	38.0 × 109.0 × 45.0	群馬県立館林美術館寄託 (国際交流基金)
16	土谷武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
17	土谷武	無題	1972	軟鋼	105.0 × 75.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
18	イサム・ノグチ	リス	1984-1983	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
19	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923-1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
20	フランソワ・ポンボン	ボストン・テリヤ「トーイ」	1930-1932	石膏	18.8 × 20.2 × 10.0	群馬県立館林美術館
21	シャナ・オルロフ	鳥 1914-1918	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館

近現代の彫刻Ⅱ 人物の表現・動物の表現

令和4年7月16日(土)～9月19日(月・祝)

展示室1



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横／ 高さ×幅×奥行き cm)	所蔵
1	フランソワ・ポンボン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンボン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923- 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンボン	大黒豹	1930- 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
5	シャナ・オルロフ	鳥 1914-1918	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
6	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館
7	アーブラハム＝ダー フィット・クリスティア ン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
8	イサム・ノグチ	リス	1984- 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
9	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
10	リサ・ラーソン	2つの横顔	1986	陶器	19.5 × 21.5 × 4.5	群馬県立館林美術館 (作者寄贈)
11	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
12	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
13	鶴岡政男	転がっている首	1950	ブロンズ	16.8 × 21.0 × 17.5	群馬県立館林美術館
14	鶴岡政男	ロレンスの顔	1951	ブロンズ	6.0 × 4.5 × 5.5	群馬県立館林美術館
15	鶴岡政男	男の顔	1951	ブロンズ	9.2 × 4.5 × 6.5	群馬県立館林美術館
16	高田博厚	海	1962	ブロンズ	77.0 × 34.0 × 29.0	群馬県立館林美術館 (小林進氏寄贈)
17	佐藤忠良	男の顔	1965	ブロンズ	32.5 × 20.0 × 23.0	群馬県立館林美術館 (小林進氏寄贈)
18	勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0 × 49.0 × 25.0	群馬県立館林美術館寄託
19	掛井五郎	人間の問題研究Ⅲ 四つの足	1985	ブロンズ	100.0 × 96.0 × 30.0	群馬県立館林美術館寄託
20	土谷武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
21	林茂樹	OO-XⅧ	2017	陶器	40.0 × 80.0 × 38.0	群馬県立館林美術館寄託
22	ロッカクアヤコ	無題	2021	陶器	39.0 × 13.8 × 28.7	群馬県立館林美術館寄託

特集展示 フランソワ・ボンボン

令和4年10月8日(土)～12月25日(日)

展示室1

2021-22年のフランソワ・ボンボンの巡回展から戻ったコレクションから、ブロンズ、石膏などの作品と、絵はがきの資料、道具などを、アトリエ写真を背景に特集展示した。2022年は「《シロクマ》誕生100年だったことから、「《シロクマ》の衝撃」と題した解説パネルを作成、また展示にあわせてボンボンの生涯をたどるスライドショーを会場で上映した。会期中は、会場を巡る初のインスタライブを開催した。

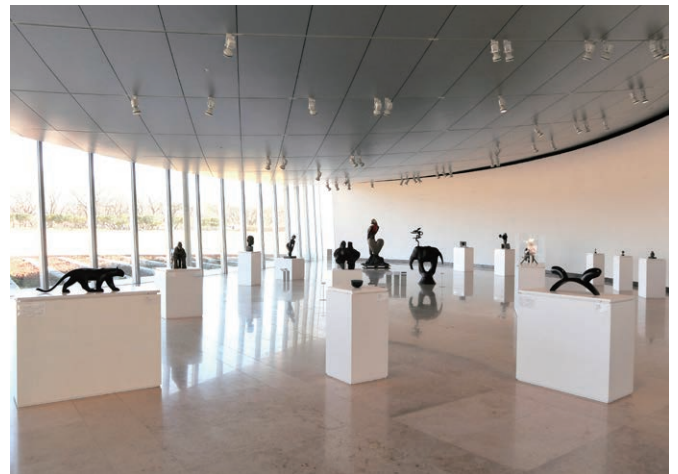


No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横／高さ×幅×奥行) cm	所蔵
1	フランソワ・ボンボン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
2		ほろほろ鳥の頭	1910-1914	石膏	7.3 × 10.5 × 6.8	群馬県立館林美術館
3		ほろほろ鳥	1910-1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
4		仔牛	1900	石膏	11.4 × 14.1 × 7.8	群馬県立館林美術館
5		牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
6		ラクダ	1906-1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
7		立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-1928	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
8		風見鶏	1908-1932	銅板	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
9		雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
10		フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
11		シロクマ	1923-1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
12		シロクマ	1923-1933	銀合金	24.0 × 44.0 × 12.4	群馬県立館林美術館
13		ヒグマ	1918-1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
14		パン	1923頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
15		大黒豹	1930-1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
16		猪	1925-1929	石膏	22.8 × 37.1 × 10.0	群馬県立館林美術館
17		切断された巢の雌鳩	1928-1931	石膏	10.6 × 29.4 × 19.8	群馬県立館林美術館
18		コンドル	1923	石膏	25.5 × 18.0 × 9.3	群馬県立館林美術館
19		ポール像	1884	テラコッタ	38.4 × 21.1 × 17.8	群馬県立館林美術館
20		ベルト・ボンボン	1894-1932	石膏	22.7 × 24.9 × 19.9	群馬県立館林美術館
21	シャナ・オルロフ	鳥 1914-1918	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
22	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館
23	リサ・ラーソン	2つの横顔	1986	陶器	19.5 × 21.5 × 4.5	群馬県立館林美術館 (作者寄贈)
24	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
25	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
*	資料	ボンボン旧蔵 動物の絵はがき(複製)				群馬県立館林美術館
		パリ植物園発行絵はがき「シロクマ」(複製)				群馬県立館林美術館
		『装飾と芸術』1922年12月号より				群馬県立館林美術館
		「石彫り職人シュベリが彫る《シロクマ》1928-1929とボンボン」(複製)	写真			群馬県立館林美術館
		ボンボンの道具				群馬県立館林美術館
		ボンボンのアトリエ写真パネル				群馬県立館林美術館
		ボンボン関連書籍				群馬県立館林美術館

近現代の彫刻 III 触感を想像しながら

令和5年1月28日(土)～4月2日(日)

展示室1



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横／高さ×幅×奥行き cm)	所蔵
1	フランソワ・ポンボン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンボン	ほろほろ鳥	1910-1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンボン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンボン	風見鶏	1908-1932	銅板	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンボン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンボン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンボン	ヒグマ	1918-1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ポンボン	パン	1923 頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923-1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ポンボン	大黒豹	1930-1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
11	イサム・ノグチ	リス	1984-1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
12	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
13	森亮太	石の鼓動	1980	黒大理石	8.0 × 19.5 × 14.0	群馬県立館林美術館 (森猛氏寄贈)
14	森亮太	二つの突起	1982	黒御影石	27.0 × 55.0 × 17.0	群馬県立館林美術館 (飯田秀夫氏寄贈)
15	伊藤博敏	ZIP STONE Metal Age	2013	自然石・ファスナー・ステンレス球	12.0 × 13.0 × 7.5	群馬県立館林美術館寄託 (I氏コレクション)
16	林茂樹	OO-X VIII	2017	陶器	40.0 × 80.0 × 38.0	群馬県立館林美術館寄託
17	勅使河原蒼風 (1.18～2.28 展示)	ビーナス	1957	木	68.0 × 65.0 × 54.0	群馬県立館林美術館寄託
	勅使河原蒼風 (3.1～4.2 展示)	題不詳	不詳	銅	44.0 × 53.0 × 48.0	群馬県立館林美術館寄託
18	佐藤忠良	男の顔	1965	ブロンズ	32.5 × 20.0 × 23.0	群馬県立館林美術館 (小林進氏寄贈)
19	高田博厚	海	1962	ブロンズ	77.0 × 34.0 × 29.0	群馬県立館林美術館 (小林進氏寄贈)
20	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
21	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ、糸	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
22	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
23	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
24	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983	ブロンズ	14.2 × 6.0 × 5.4	群馬県立館林美術館
25	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
26	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館

## D. 彫刻家のアトリエ（別館） 展示記録

彫刻家のアトリエの展示ケース内にて資料（一部複製）を展示。展示ごとに配布用解説を作成した。

### 第1期

「フランソワ・ボンボン関連資料より—1930年、75歳のボンボン—」

4月23日（土）～6月26日（日） 展示資料：写真15点、手帳より抜粋3点（全て複製）

ボンボンが75歳を迎えた1930年は、展覧会、作品販売、新作の発表、新しいアトリエのオープンなどが相次ぎ、多忙の年だった。1-2月「動物芸術家協会展」、4月からのボストン・テリア犬「トイー」のモデリング、5月、《大鹿》の設置のため南仏への旅行、新しいアトリエのオープンやアメリカの美術館の作品購入など、活躍を象徴するかのような一年を手帳の記録や写真で紹介。

### 第2期

「フランソワ・ボンボン関連資料より—ボンボンの生まれ故郷ソーリュエ—」

7月16日（土）～9月19日（日） 展示資料：写真5点、作品図版6点、その他2点（全て複製）

ルネ・ドゥムリス（René Demeurisse, 1895-1961）は、ボンボンの代表作《シロクマ》を世に送り出す立役者となった人物である。ボンボンの40歳年下の若いドゥムリスは、ボンボンを慕ってアトリエに通い、ボンボンの作品販売の仲介や、ボンボンから遺言執行人として任命され、ボンボン死後も作品普及に関わった。ドゥムリスとボンボンの関係を作品写真などで紹介した。

### 第3期

「フランソワ・ボンボン関連資料より—雌鶏と雄鶏—」

9月18日（土）～11月7日（日） 展示資料：写真8点、雑誌切り抜き12点、絵はがき2点、作品図版6点（全て複製）

ボンボンは、戸外を自由に駆け回る身近な家禽たちをよく観察した。雌鶏と雄鶏は、さまざまな作品になり、装飾的細部をそぎ落とす方向に進みますが、決して生命感を失うことはなかった。鶏がモデルになったブロンズや石膏の作品、ボンボンが集めた鶏の写真や図版の切り抜きの他、風見鶏などの作品を紹介。

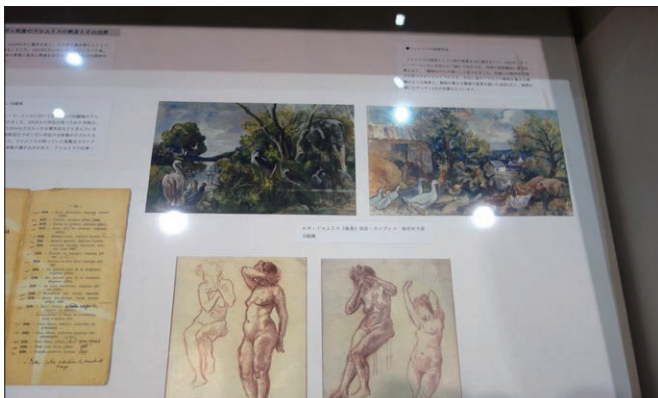
### 第4期

「フランソワ・ボンボン関連資料より—頭像と全身像—」

1月28日（土）～4月2日（日） 展示資料：写真8点、作品図版6点、絵はがき11点（全て複製）

ボンボンの人物像は、動物彫刻の作品とは少し異なる特徴がある。1880年代前半の作品には、細部を子細に観察して表現しようとする眼差しがあるが、表面仕上げに違いをつける《サント・カテリーヌ》を経て、1890年前後の人物像には、下彫り職で得た刺激や知識を反映し、少しずつ変化する。関連資料より、他の彫刻家の作品の絵はがきなども紹介。

1月28日より、誰でも自由に作品触れて形や材質を鑑賞できる展示として「手で触れるボンボン作品」コーナーを試験的に開始した。ガラスケースのレイアウトを変更し、《アヒル》1911-1927年（1970年代鋳造）を展示した。



## E. 入館者数一覧

### 企画展示

	有料観覧者							無料観覧者					観覧者 合計	入館者 合計	
	個人			団体				有料 合計	小中生	学校 団体	身体障 害者等	その他			無料 合計
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計									
永井一正のポスターデザ インーいきること・つくるこ とー 4/1-4/3 3日	427	36	463	0	0	0	463	56	0	22	370	448	911	911	
ものがたりの予感 4/23-6/26 60日	4,141	231	4,372	30	0	30	4,402	353	142	229	2,137	2,861	7,263	7,798	
生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良 7/16-9/19 58日	4,697	326	5,023	0	0	0	5,023	820	146	254	4,921	6,141	11,164	12,078	
かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのぱ んやさんも大集合！ 10/8-12/25 68日	11,824	554	12,378	0	0	0	12,378	1,801	529	504	7,207	10,041	22,419	24,993	

入館者数は、観覧者数に施設利用者数、教育普及事業参加者数を加えた総数。  
令和4年度の総入館者数は54,790人である。

# 教育普及

## A. 講演会

展覧会に関連した講演会を開催した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
9.3	記念講演会「佐藤忠良が遺したもの」	三上満良	講堂	5
11.6	記念講演会「かこさとしの世界」	鈴木万里	講堂	62
11.26	記念講演会「かこ先生と絵本と鳥の巣の不思議」	鈴木まもる	講堂	49
11.26	鈴木まもるサイン会	鈴木まもる	講堂	19
3.4	記念対談「作家とコレクターが語る、作品やコレクション」	山中現、飯野光夫	講堂	87



記念講演会「佐藤忠良が遺したもの」



記念講演会「かこさとしの世界」



記念講演会「かこ先生と絵本と鳥の巣の不思議」



記念講演会「かこ先生と絵本と鳥の巣の不思議」  
鈴木まもる氏 サイン会





記念対談「作家とコレクターが語る、作品やコレクションのこと」

## B. 作品解説会・キッズウォーク・ポンポンツアー

### 1. 学芸員による作品解説会

各展覧会において、学芸員が作品解説を行った。

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
5.1	ものがたりの予感	伊藤香織	講堂	15
6.12	ものがたりの予感	伊藤香織	講堂	19
8.3	生誕 110 年 傑作誕生・佐藤忠良	神尾玲子	研修室	20
8.28	生誕 111 年 傑作誕生・佐藤忠良	神尾玲子	研修室	20
10.26	かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合！	熊谷ゆう子	講堂	20
12.10	かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合！	熊谷ゆう子	講堂	21
2.9	山中現展 描かれた詩	野澤広紀	講堂	24
3.11	山中現展 描かれた詩	野澤広紀	講堂	9



## 2. たてび☆キッズウォーク

参加者は、ワークシートを持って展示室を自由に探検しながら作品を鑑賞した。

開催日	担当者	会場	参加者数
5.14	橋本美紀・齋藤久美子・竹渕典子	展示室	9
7.23	橋本美紀・齋藤久美子	展示室	32
8.27	橋本美紀・齋藤久美子	展示室	10
10.22	橋本美紀・齋藤久美子	展示室	40
11.19	橋本美紀・齋藤久美子	展示室	33
12.17	橋本美紀・齋藤久美子	展示室	76
2.4	橋本美紀・齋藤久美子	展示室	13
3.25	橋本美紀・齋藤久美子	展示室	12



## 3. ポンポン・ツアー

当館人気のフランソワ・ポンポンの彫刻や公開資料を、学芸員の解説を聞きながら鑑賞した。通常であれば、展示室や彫刻家のアトリエでの解説であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、講堂や研修室において実施した。

開催日	担当者	会場	参加者数
6.5	松下和美	講堂	17
8.7	松下和美	研修室	3
11.13	神尾玲子	講堂	6
2.12	神尾玲子	講堂	24



## C. ワークショップ

別館ワークショップ室を会場に開催する演劇公演に向けて、滞在制作中の演出家加藤真史氏と俳優の大竹直氏、加藤亮祐氏と一緒に楽しみながら、身体や言葉を使ったコミュニケーションゲームを通して、演劇とは何かを学ぶワークショップを開催した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.22	「ものがたり」の扉をひらく 演劇ワークショップ	加藤真史（演出家） 大竹直（俳優） 加藤亮祐（俳優）	講堂	21



## D. 創作体験コーナー みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」

みんなのアトリエは夏季企画展会期中の事業で、参加者に簡単な多色摺り木版画の摺り体験を提供している。平成 21 年度より、同会期中に「館林邑楽地区小学生木版画展」を開催していることから、テーマの関連を図り、この事業が始まった。昨年度、蔓延防止等重点措置のため、全 4 回のうち 2 回が中止となってしまったため、引き続き講師に、木版画家の内山良子氏を招き、同氏が制作した版により、摺り方の基本や多色摺りの美しさや面白さを教えていただいた。全 4 回計画し 181 名の参加だった。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
7.21	多色摺り木版画の摺り体験	内山良子（木版画家）	ワークショップ室	40
7.28	多色摺り木版画の摺り体験	内山良子（木版画家）	ワークショップ室	32
8.11	多色摺り木版画の摺り体験	内山良子（木版画家）	ワークショップ室	49
8.18	多色摺り木版画の摺り体験	内山良子（木版画家）	ワークショップ室	60



## E. たてび☆びじゅつ部

「たてび☆びじゅつ部」は誰でも気軽に参加できる無料の造形体験コーナーである。展覧会に関連した造形体験を企画開催した。

開催日	名称	会場	参加者数
6.18	展覧会ポスターでエコバックをつくろう	ワークショップ室	40
10.29	自分だけのだるまちゃんをつくろう	ワークショップ室	63
12.30	自分だけのだるまちゃんをつくろう	ワークショップ室	50
2.25	プラ版でキーホルダーを作ろう	ワークショップ室	40
3.18	プラ版でキーホルダーを作ろう	ワークショップ室	40



たてび☆びじゅつ部 「展覧会ポスターでエコバックをつくろう」



たてび☆びじゅつ部 「自分だけのだるまちゃんをつくろう」



たてび☆びじゅつ部 「プラ版でキーホルダーを作ろう」

## F. その他

### 1. インスタライブ（インスタグラムのライブ配信）

学芸員とゲストの俳優・加藤亮佑氏が一緒に展示室を巡り、夜の美術館内の様子や、特集展示中のフランソワ・ボンポンを紹介するインスタグラムのライブ配信機能を用いた「インスタライブ」を開催した。

開催日	名称	出演者	会場
12.18	ナイトミュージアムツアー～夜の建築とフランソワ・ボンポン～	加藤亮佑（俳優）、松下和美	展示室



## G. 他団体への協力

### 1. 演劇公演への特別協力

太田市を拠点に活動する劇団、演劇／微熱少年の滞在制作および公演への会場協力を行った。

開催日	名称	出演者	会場	参加者数
5.27-29（5/17より滞在制作）	演劇／微熱少年第2回公演 『料理昇降機／the dumb waiter』	大竹直、加藤亮佑 （演出：加藤真史）	ワークショップ室	159



「料理昇降機」公演風景 写真提供：演劇／微熱少年

## H. 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れており、当館独自の鑑賞プログラム「たてび☆スクールプログラム」を作成し、見学の受け入れや訪問鑑賞授業を積極的に行っている。また、美術館の活用法を紹介する教職員向けのセミナーを開催したり、例年近隣の芸術科を有する群馬県立西邑楽高校や群馬県立女子大学との連携したイベントを開催したりしている。一般団体においては、解説を希望する団体に、観覧前の概要説明や学芸員による解説を行っている。

### 1. 学校との連携事業

#### (1) 連携授業等

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
5.27	美術館見学	春日部市立飯沼中学校美術部	橋本	研修室・展示室・別館	32
6.1	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校	伊藤・橋本	講堂・展示室・別館	18
6.2	美術館見学	館林市立第八小学校4年生	橋本・伊羅子・菊地	講堂・展示室	76
6.10	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校	橋本	研修室・展示室・別館	6
6.14	訪問鑑賞授業	太田市立沢野中央小学校4年生	橋本・竹渕	太田市立沢野中央小学校	68
6.15	美術館見学	館林市立多々良中学校1年生	橋本	研修室・展示室	6
6.16	訪問鑑賞授業	桐生市立川内小学校1年生	橋本・羽鳥	桐生市立川内小学校	44
6.18	美術館見学・WS体験	放課後等デイサービスプリエ西新町	熊谷・橋本・齋藤	講堂・研修室・展示室・別館	15
6.25	美術館見学	太田市立西中学校美術部	齋藤・竹渕	研修室・展示室・別館	12
6.30	訪問鑑賞授業	太田市立沢野中央小学校3年生	橋本・羽鳥	太田市立沢野中央小学校	72
7.5	訪問鑑賞授業	桐生市立神明小学校1年生	橋本・竹渕	桐生市立神明小学校	48
7.8	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校1年生	橋本・羽鳥	館林市立第一小学校	90
7.16	美術館見学	群馬大学共同教育学部	橋本	研修室・展示室・別館	19
7.23	美術館見学	館林市立多々良中学校美術部	橋本	研修室・展示室・別館	26
7.26	職場体験打合せ	明和町立明和中学校2年生	橋本	エントランス	1
7.27	美術館見学・絵画教室	館林市立第九小学校1年生家庭学級（渡瀬公民館）	橋本・齋藤	ワークショップ室・展示室・別館	12
8.2	美術館見学	ひまわり学童クラブ	橋本	研修室・展示室・別館	51
8.3	宿題相談室・美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校	橋本・齋藤	ワークショップ室・展示室・別館	10
8.4	宿題相談室・美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校	橋本・齋藤	ワークショップ室・展示室・別館	12
8.18	美術館見学・WS体験	館林市立多々良中学校美術部	橋本・齋藤	ワークショップ室・展示室・別館	26
8.18	美術館見学・WS体験	太田市立西中学校美術部	橋本・齋藤	ワークショップ室・展示室・別館	6
9.14	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校	神尾・橋本・伊羅子	講堂・展示室・別館	20
9.15	美術館見学	桐生市立梅田南小学校5年生	橋本	講堂・展示室・別館	23
9.30	訪問授業	館林市立第三小学校6年生	橋本	館林市立第三小学校	70

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
10.6	美術館見学（職場体験）	館林市立第四中学校 2 年生	橋本	研修室・展示室・事務室	16
10.12	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校	熊谷・橋本	講堂・展示室・別館	21
10.14	美術館見学	馬門鏡もち保育園	伊羅子・羽鳥	講堂・展示室・別館	35
10.14	訪問授業	館林市立第三小学校 6 年生	橋本	館林市立第三小学校	68
10.27	美術館見学	桐生市立川内小学校 5 年生	橋本	講堂・展示室・別館	57
11.1	美術館見学	羽生市立川俣小学校 5 年生（ゆい教育旅行社）	橋本	展示室・別館	18
11.4	美術館見学	太田市立太田小学校 4 年生	橋本・伊羅子・羽鳥	講堂・展示室・別館	62
11.9	訪問鑑賞授業	太田市立綿打小学校 3, 4 年生	橋本・羽鳥	太田市立綿打小学校	150
11.10	訪問鑑賞授業	館林市立第五小学校 5 年生	橋本・竹淵	館林市立第五小学校	55
11.11	訪問鑑賞授業	邑楽町立高島小学校 3 年生	橋本・羽鳥	邑楽町立高島小学校	31
11.15	美術館見学	館林市立第八小学校 2 年生	橋本・齋藤・竹淵	講堂・展示室・別館	73
11.16	美術館見学	館林市立第三小学校 5 年生	橋本・齋藤	講堂・展示室・別館	63
11.16	美術館見学	邑楽町立高島小学校 3 年生	橋本・齋藤・伊羅子	講堂・展示室・別館	30
11.16	美術館見学	関東学園大学附属高等学校 3 年生	竹淵・伊羅子・羽鳥	展示室・別館	164
11.17	美術館見学	館林市立第八小学校 6 年生	橋本	講堂・展示室・別館	100
11.25	訪問鑑賞授業	館林市立第五小学校 6 年生	橋本・竹淵	館林市立第五小学校	65
11.25	美術館見学	あゆみ保育園年中	伊羅子・羽鳥	講堂展示室	25
11.30	美術館見学	あゆみ保育園年長	齋藤・羽鳥	講堂・展示室	25
12.2	美術館見学	館林市立第三中学校 1 年生	橋本	展示室・別館	15
12.8	訪問鑑賞授業	館林市立第五小学校 2 年生	橋本・竹淵	館林市立第五小学校	27
12.8	美術館見学	三宝幼稚園	横堀	展示室	15
12.9	訪問鑑賞授業	館林市立第九小学校 4 年生	橋本・羽鳥	館林市立第九小学校	42
12.12	訪問鑑賞授業	太田市立木崎小学校 6 年生	橋本	太田市立木崎小学校	95
12.14	訪問鑑賞授業	館林市立第五小学校 2 年生	橋本・羽鳥	館林市立第五小学校	28
12.15	美術館見学	館林市立第五小学校特別支援学級	橋本・羽鳥	研修室・展示室・別館	15
12.15	美術館見学	洗心幼稚園	伊羅子・羽鳥	展示室	62
12.16	訪問鑑賞授業	明和町立明和西小学校 4 年生	橋本・羽鳥	明和町立明和西小学校	47
12.16	美術館見学	けやき保育園	坂爪	展示室・別館	23
12.21	訪問鑑賞授業	館林市立第九小学校 4 年生	橋本・羽鳥	館林市立第九小学校	19
12.22	訪問鑑賞授業	館林市立第九小学校 4 年生	橋本・羽鳥	館林市立第九小学校	21
1.12	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校 6 年生	橋本・羽鳥	館林市立第一小学校	118
1.17	訪問鑑賞授業	太田市立沢野中央小学校 4 年生	橋本・竹淵	太田市立沢野中央小学校	70
1.18	訪問鑑賞授業	太田市立南小学校 4 年生	橋本・竹淵	太田市立南小学校	75
1.19	訪問鑑賞授業	板倉町立東小学校 4 年生	橋本・羽鳥	板倉町立東小学校	49
1.20	訪問鑑賞授業	太田市立太田小学校 4 年生	橋本・羽鳥	太田市立太田小学校	65
1.25	訪問鑑賞授業	邑楽町立長柄小学校 5 年生	橋本・竹淵	邑楽町立長柄小学校	74
1.26	訪問鑑賞授業	太田市立綿打小学校 1 年生	橋本・竹淵	太田市立綿打小学校	72
1.27	訪問鑑賞授業	太田市立綿打小学校 4 年生	橋本・羽鳥	太田市立綿打小学校	82
1.31	訪問鑑賞授業	太田市立綿打小学校 2 年生	橋本・竹淵	太田市立綿打小学校	78
2.1	訪問鑑賞授業	太田市立綿打小学校 6 年生	橋本・羽鳥	太田市立綿打小学校	73

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
2.3	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校 2年生	橋本・羽鳥	館林市立第二小学校	39
2.7	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校 4, 5年生	橋本・竹渕	館林市立第二小学校	110
2.8	訪問鑑賞授業	前橋市立新田小学校 4, 6年生	橋本・羽鳥	前橋市立新田小学校	147
2.17	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校 3年生	橋本・羽鳥	館林市立第二小学校	55
2.21	訪問鑑賞授業	みどり市立笠懸西小学校 4年生	橋本・竹渕	みどり市立笠懸西小学校	70
2.22	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校 1年生	橋本・羽鳥	館林市立第二小学校	49
2.24	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校 5年生	橋本・羽鳥	館林市立第二小学校	54
3.3	訪問鑑賞授業	館林市立第八小学校 6年生	橋本・羽鳥	館林市立第八小学校	102
3.7	訪問鑑賞授業	前橋市立新田小学校 2年生	橋本・竹渕	前橋市立新田小学校	72
3.8	訪問鑑賞授業	太田市立旭小学校 5年生	橋本・羽鳥	太田市立旭小学校	99
3.9	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校	橋本	研修室・展示室・別館	32
3.14	美術館見学	太田市立木崎小学校 6年生	橋本・齋藤・竹渕	講堂・展示室・別館	90
3.15	美術館見学	太田市立旭小学校 5年生	橋本・伊羅子・羽鳥	講堂・展示室・別館	99
3.18	美術館見学・ワークショップ体験	館林市立多々良中学校 美術部	橋本・齋藤・竹渕	展示室・別館	11



訪問鑑賞授業（アートカード使用）



訪問鑑賞授業（山口晃の教材使用）



美術館見学



## (2) 主任会、研修会の実施、参加

開催日	名称	学校名、組織名	担当	会場	参加者数
4.11	館林市中学校美術主任会		橋本	館林市立第一中学校	6
6.3	館林市中学校美術主任会		橋本	館林市立第二中学校	5
6.9	コミュニティースクール打合せ	館林市立多々良中学校	橋本	エントランス・展示室・別館	1
7.26	出前なんでも講座 (知って得する!よもやま話講座)	邑楽町	橋本	邑楽町2区公民館	19
7.28	下見・打合せ	太田市立太田小学校	橋本	エントランス・展示室・別館	2
8.9	下見	桐生市立川内小学校	橋本	展示室・講堂・別館	2
9.6	邑楽町立中野幼稚園研修	中野幼稚園・長柄幼稚園	橋本	邑楽町立中野幼稚園	9
9.8	館林市中学校美術主任会		橋本	館林市立第三中学校	4
10.10	鑑賞授業打合せ	足利市立梁田小学校	橋本	研修室・展示室	1
11.3	鑑賞セット返却・打合せ	足利市立梁田小学校	伊羅子	展示室・別館	1
11.15	下見・打合せ	前橋市 あゆみ保育園	橋本	エントランス・展示室・別館	1
11.18	邑楽郡小学校図工主任会		橋本	研修室・展示室	16
12.2	下見・打合せ	館林市立第五小学校特別支援学級	橋本	研修室・展示室	2
12.13	出前講座	新里福寿大学 生涯学習 高齢者学級	神尾・橋本	桐生市新里公民館	35
1.13	館林市小学校図工主任会		橋本	講堂	12
2.17	見学下見・打合せ	群馬県立館林高等特別支援学校	橋本	エントランス・展示室・別館	1
2.18	自己研修	板倉町立板倉中学校	橋本	展示室・別館	1
2.27	太田市立鳥之郷小学校校内研修	太田市立鳥之郷小学校	橋本	太田市立鳥之郷小学校	25
3.4	自己研修	大泉町立北小学校	橋本	エントランス・展示室・別館	1
3.12	見学下見	太田市立木崎小学校	橋本	エントランス・展示室・別館	1

### (3) 「先生のための美術館サマーセミナー」の開催

学校の夏季休業期間中に、教職員を対象とした「先生のための美術館サマーセミナー」を開催した。本事業は、教職員が美術館をもっと身近なものとしてとらえ、学校の授業や行事の中に気軽に取り入れ、活用していけるように企画したものである。「たてび☆スクールプログラム」について、利用例をスライドで紹介したり、ワークシートを使った鑑賞やアートカードゲームなどを実際に体験していただいたりした。

開催日	名称	担当	会場	参加者数
8.17	先生のための美術館サマーセミナー	橋本	研修室・展示室・別館	8



先生のためのサマーセミナー

## 2. 群馬県立西邑楽高等学校との連携事業

### (1) 高校生による夏休み宿題相談室

群馬県立西邑楽高等学校の芸術科美術コースの生徒が、小中学生に絵やポスターなど夏休みの課題についてアドバイスをするワークショップを2日間に分けて実施した。参加者は、高校生からのアドバイスをもとに、熱心に制作に励んでいた。また、高校生たちは、小中学生との交流を通して、教えることの難しさを感じながらも、ふれあいを楽しみ活動していた。

開催日	名称	会場	参加者数
8.3	高校生による夏休み宿題相談室	ワークショップ室	10
8.4	高校生による夏休み宿題相談室	ワークショップ室	11



高校生による夏休み宿題相談室

### 3. 群馬県立女子大学との連携事業

群馬県立女子大学奥西ゼミと連携して、夏休み期間中の子どもたちを主な対象としたワークショップを企画した。今年度で9回目となる今回は、企画展示「生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良」にちなみ、ふわふわ軽い粘土で好きな形を作り、石膏でできた台座にのせてミニチュア彫刻を制作した。子どもから大人まで、造形の世界を楽しむことができた。

開催日	名称	会場	参加者数
8.21	ミニチュア彫刻を作ろう	研修室	90



群馬県立女子大学との連携事業「ミニチュア彫刻を作ろう」

### 4. 団体観覧者への解説

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	4
人数	0	0	6	0	0	0	14	0	0	30	32	0	82

## I. 地域に開かれた美術館づくり

館林美術館の施設と機能を活かして、地区小学生の健全育成、芸術創作活動の振興、美術鑑賞力の向上を図るとともに、地域に開かれた美術館づくりを推進するために、館林が生んだ木版画家である藤牧義夫にちなみ、館林市及び邑楽郡5町の各市町及び各市町教育委員会の協力を得て、「第14回 藤牧義夫記念 館林邑楽地区小学生木版画展」を開催した。会場は講堂を使用し、参加小学校全25校を一週間6会期に分けて展示した。31日間の全会期中に、合計2,500人が観覧した。

会期	開催期間	参加校	入室者数
第1期	7.16-7.21	邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校	432
第2期	7.23-7.28	館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校	368
第3期	7.30-8.4	館林市立第五小学校、館林市立第六小学校、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校、館林市立第九小学校	413
第4期	8.6-8.11	館林市立第十小学校、館林市立美園小学校、板倉町立東小学校、板倉町立西小学校	503
第5期	8.13-8.18	明和町立明和東小学校、明和町立明和西小学校、大泉町立南小学校、大泉町立北小学校	469
第6期	8.20-8.25	大泉町立西小学校、大泉町立東小学校、千代田町立西小学校、千代田町立東小学校	315

**第14回 藤牧義夫記念 館林邑楽地区小学生木版画展**

2022年7月16日(土)～8月25日(木) 全週土曜日から木曜日

群馬県立館林美術館 講堂(入場料) 開催時間(午前9時30分～午後5時)

休室日 全館休室日(7月18日(日)、7月19日(火))

主催 群馬県立館林美術館

協賛 館林市教育委員会、邑楽郡教育委員会、明和町教育委員会、大泉町教育委員会、千代田町教育委員会

参加小学校

5年生児童の参加

第1期 7/16-7/21 邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校

第2期 7/23-7/28 館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校

第3期 7/30-8/4 館林市立第五小学校、館林市立第六小学校、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校、館林市立第九小学校

第4期 8/6-8/11 館林市立第十小学校、館林市立美園小学校、板倉町立東小学校、板倉町立西小学校

第5期 8/13-8/18 明和町立明和東小学校、明和町立明和西小学校、大泉町立南小学校、大泉町立北小学校

第6期 8/20-8/25 大泉町立西小学校、大泉町立東小学校、千代田町立西小学校、千代田町立東小学校

2022 7/16[土]-8/25[木]

群馬県立館林美術館 Gunma Museum of Art, Tatebayashi



展示会場

ポスター

◎主要関連記事（教育普及事業・その他）

（長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略）

[新聞等]

・上毛新聞

6.2

「ポスターでバッグ たてび☆びじゅつ部「展覧会ポスターでエコバッグをつくろう」〈先どりピックアップ!〉

6.14

「芝居で新たな可能性 館林美術館 1 室で初の本格演劇公演 融合の表現に手応え」＊〈文化〉

6.19

「展示会ポスターがエコバッグに変身 館林美術館」＊〈東毛〉

7.12

「かき氷 おいしそうな色に 一小で絵画授業」＊〈東毛〉

7.18

「風景や動物 力強い表現 児童 1400 人の木版画展示」＊〈東毛〉

8.12

「多色刷り 上手にできた 館林美術館で体験イベント」＊〈東毛〉

8.30

「美術館外壁に映像投影 館林商工会議所 75 周年記念でイベント 10 月 10 日」＊

10.12

「壁面彩る「里沼」親子連れ楽しむ 県立美術館でイベント」＊〈東毛〉

10.31

「沼のほitori 自然調和 県立館林美術館 館林市日向町」＊〈公共建築の世界〉

2.10

「飛躍する姿に力強さ 県立館林美術館「鐘の上の野兎」(館林市日向町)」＊〈上州干支 兎オッチ〉

・新美術新聞

7.11

「群馬県立館林美術館 広がる自然とモダンな建築」＊(学芸員 松下和美)〈ぷらっとミュージアム!④ 美術館建築の表裏〉

・タウンぐんま

10.7

「群馬県立館林美術館」

・タウンわたらせ

12.3

「群馬県立館林美術館 館林市 特集展示「フランソワ・ポンボン」」＊

[ 定期刊行物 ]

・アンドプレミアム

8月号

「動物彫刻をモダンに生まれ変わらせた、愛らしいシロクマ。」

＊〈人生で一度は観たい、日本国内所蔵の名作 30。〉

・F.U.N [北関東版]

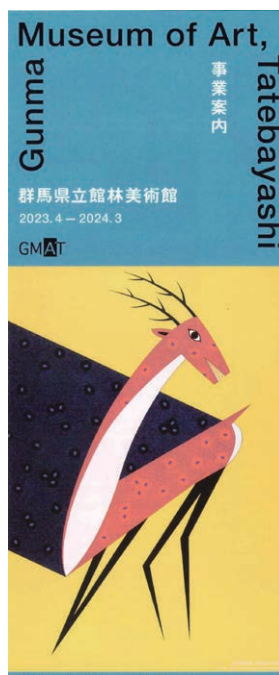
2022 vol.173 [秋号]

「群馬県立館林美術館」〈秋にぴったり感動体験〉

## J. 刊行物

### ◎群馬県立館林美術館 令和5年度事業案内

B4 判変形 4つ折り  
令和5年3月発行  
発行部数 20,000部  
デザイン：林 琢真  
制作：上武印刷



## K. ボランティア

年間登録制のボランティア、「たてび★サポーター」は、主にワークショップの制作サポート、「たてび☆キッズウォーク」の受付サポート、館内の資料整理等を活動としている。その他、随時、活動に合わせた研修会を開催し、コミュニケーションを図りつつ、円滑な美術館の普及活動に貢献している。募集は通年で行い、今年度の登録数は45名である。

期日	名称	人数
4.23、7.7	研修会等	29
7.21、7.28、8.11、8.18	「みんなのアトリエ」制作サポート	35
5.14、7.23、8.27、10.22、11.19、12.17、2.4、3.25	「たてび☆キッズウォーク」サポート	27
6.18、10.29、12.3、2.25、3.18	「たてび☆びじゅつ部」制作サポート	65
5.12、5.26、6.9、6.23、9.1、9.15、10.20、11.10、11.24、12.8、12.22、2.2、2.16、3.2、3.16	資料整理	55

## L. 友の会（群馬県立館林美術館友の会）

### 1. 運営会議

- (1) 総会（7.15）書面協議
- (2) 理事会（6.17）書面協議
- (3) 運営委員会（4回開催 5.18、7.27、9.14、1回書面協議 12.27）  
事業の企画運営等具体的事項の協議

### 2. 美術館協力支援事業

- (1) ミュージアムショップの運営  
展覧会商品、図録、オリジナル商品、書籍その他の展示販売を通して来館者へのサービス向上に努めた。
- (2) 美術館への協力  
ミュージアムショップの利益から書籍、別館資料展示用テーブル、別館展示用ゴミ箱等を寄贈した。

### 3. 会員対象事業

- (1) 美術館情報の提供（年7回 5.18、6.2、6.22、9.22、12.22、1.27、3.23）  
展覧会や美術講座等の広報資料や、友の会からのお知らせ等を随時会員宛に送付した。
- (2) コンサートの開催  
オータムコンサート演奏者：後閑由治（クラリネット）、島野泰史（ヴィオラ）、木村美紀（ピアノ） 参加者 62名
- (3) ミュージアム・ツアーの開催  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮し中止とした。
- (4) 特別館長レクチャー（3.12）  
民芸の陶器「小鹿田焼」 参加者 37名
- (5) アンケート事業（7.15）  
友の会の事業運営に役立てるため、DMにてアンケート用紙を配布し意見・要望を募った。

## M. その他

### 1. ホームページのリニューアル

ホームページをスマホベース、セキュリティを向上させた仕様として、令和5年1月20日にリニューアルした。情報の探しやすい構造・デザインに変更、ブログやカレンダーなどの新しいコンテンツを追加した。展示記録のアーカイブは継続させ、また一部の更新作業は美術館職員が簡単に行えるテンプレートを導入した。3月末には、子どもページのリニューアル、収蔵作品検索もデータを一部公開して運用開始した（ホームページ制作：株式会社ジェイ・エヌ・エス）。



# 所蔵資料

## A. 美術作品

### 1. 作品収蔵状況 令和5年3月31日現在

作家区分 収蔵方法 部門	県内作家			国内作家			外国作家			総計
	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
日本画	4	9	13	1	1	2	0	0	0	15
油彩その他	8	2	10	18	21	39	6	1	7	56
水彩・素描	10	6	16	3	5	8	8	6	14	38
版画	22	0	22	289	597	886	52	0	52	960
写真・映像	0	0	0	60	8	68	12	0	12	80
彫刻	5	8	13	4	5	9	125	1	126	148
染織・工芸	5	3	8	3	0	3	4	1	5	16
計	54	28	82	378	637	1015	207	9	216	1313

### 2. 収蔵品

令和4年度は、新たに収蔵した作品はなかった。



### 3. 令和4年度寄託作品

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横／高さ×幅×奥行き cm）
伊藤博敏	ZIP STONE Metal Age	2013	自然石、ファスナー、ステンレス球	12.0 × 13.0 × 7.5
大坂秩加	あなたに縁起のいい門出を	2010	リトグラフ・紙	25.0 × 16.0
大坂秩加	ちょっと高い合コン	2011	アクリル、水彩、色鉛筆・麻布	70.0 × 50.0
大坂秩加	カップヌードルすする	2012	アクリル、水彩、色鉛筆、白亜地・麻布	120.0 × 90.0
上根拓馬	27 ガーディアンズ 大弁功德天	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	15.0 × 15.0 × 30.0
上根拓馬	28 ガーディアンズ 那羅延堅固	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	15.0 × 15.0 × 30.0
上根拓馬	28 ガーディアンズ 那羅延堅固	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	25.0 × 25.0 × 55.0
上根拓馬	28 ガーディアンズ 密遮金剛力士	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	25.0 × 25.0 × 55.0
上根拓馬	12 ガーディアンズ no.2 伐折羅大将	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	15.0 × 15.0 × 30.0
上根拓馬	12 ガーディアンズ the Devas no.7 毘沙門天	2013	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	25.0 × 25.0 × 43.0
白石綾子	room of womb	2010	アクリル、油彩・パネル	120.0 × 120.0
樽谷タカシ	妖怪力車	2011	アクリル、金箔・木製パネル	33.3 × 53.1
中井章人	引きずりの観測	2010	ミクストメディア	11.0 × 11.0 × 12.5
にしはら あずさ	グレタ	2010	油彩・コットンクロスパネル	41.0 × 31.8
にしはら あずさ	あの子と逸れた	2011	油彩・コットンクロスパネル	162.1 × 112.1
町田久美	招き猫	不詳	ミクストメディア	7.5 × 8.5 × 14.0
町田久美	らんちゅうタクシー	1998	スクリーンプリント・紙	87.0 × 42.7
町田久美	“Das rote Kostüm” —三浦哲郎「赤い衣装」ドイツ語版表紙—	2010	青墨、岩絵具、顔料・雲肌麻紙	22.8 × 16.5
町田久美	オモチャ	2011	グワッシュ、デジタルプリント・紙	29.4 × 39.0
町田久美	a year	2012	岩絵具、リキテックス、鉛筆・カンヴァス	10.0 × 10.0
町田久美	鞭	2012	鉛筆、色鉛筆、オイルパステル・紙	30.0 × 21.0
町田久美	前夜	2013	エッチング、リトグラフ、金箔、手彩色・紙	22.7 × 19.2
町田久美	前夜	2014	エッチング、リトグラフ、金箔、手彩色・紙	22.7 × 19.4
三宅砂織	ベッドルーム2	2008	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	70.0 × 70.0
山口長男	人（Ⅲ）	1980	リトグラフ・紙	58.0 × 43.0
山田純嗣	10-11 FLOWERS	2010	ポリコートパネル、印画紙、樹脂、パールペイント、インタリオ・オン・フォト	65.0 × 65.0
横尾忠則	予兆の刻3	1989	シルクスクリーン・紙	112.0 × 70.0
岸浪百草居	画卷（魚など）	未詳	紙本著色・卷子	24.0 × 625.9
津田青楓	山高水長画卷	1937	紙本著色・卷子	30.2 × 538.2
森田恒友	漁村図	未詳	紙本墨画・軸	94.5 × 90.0
太田三郎	200 Year After SHARAKU, from 1 June 1994 to 28 February 1995	1996	切手にコピー、20 シート	各 × 24.5 35.2
清水榎博	image of Mr.S-A	1996	陶	103.0 × 45.0 × 45.0
清水榎博	image of Mr.S-B	1996	陶	38.0 × 109.0 × 45.0
深井隆	記憶—写楽	1996	木、紙、顔料	220.0 × 43.0 × 37.0
藤本由紀夫	SHARAKU BOX(Mizuemon)	1996	木、オルゴールユニット	40.0 × 26.0 × 20.0
藤本由紀夫	SHARAKU BOX(Mikinoshin)	1996	木、オルゴールユニット	40.0 × 26.0 × 20.0

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横／高さ×幅×奥行き cm)
藤本由紀夫	SHARAKU BOX(Mizuemon)	1996	木、オルゴールユニット	40.0 × 26.0 × 20.0
藤牧義夫	高根山の松	1935	水彩・紙	28.8 × 23.6
藤牧義夫	(デザイン画)		水彩・紙	28.8 × 23.7
藤牧義夫	達磨	1933	木版・紙	18.2 × 21.3
藤牧義夫	(静物3・香爐)		鉛筆・紙	23.4 × 28.8
藤牧義夫	(風景3・ガスタンク)		水彩・紙	23.5 × 31.0
藤牧義夫	(男体山)		水彩・紙	
藤牧義夫	(《給油所》印刷物)			
新井一男	高根山より大小山を望む景		水彩・紙	23.5 × 28.8
藤牧義夫	井の頭風景	1934	木版・紙	14.8 × 16.9
藤牧義夫	鶴の間の池	1935	水彩・紙	21.0 × 18.0
藤牧義夫	(サボテン)	1934	水彩・墨・紙	21.0 × 18.0
藤牧義夫	谷馬川の景	1935	水彩・紙	23.4 × 28.8
藤牧義夫	(風景1・とがった木)		水彩・紙	23.5 × 31.2
藤牧義夫	(《給油所》印刷物)			
新井一男・ 藤牧義夫	(静物4・ろうそく)		水彩・紙	23.6 × 28.8
新井一男	邑楽郡のある村を流るゝ谷場川	1930	水彩・紙	23.5 × 28.8
藤牧義夫	(静物1・りんご)		水彩・紙	23.6 × 28.8
藤牧義夫	(静物2・ろうそく)		水彩・紙	23.6 × 28.8
藤牧義夫	(風景2・丸い木)		水彩・紙	24.8 × 28.8
藤牧義夫	尾曳見晴し	1934	水彩・紙	21.2 × 18.0
新井一男・ 藤牧義夫	(静物5・あさがお)		水彩・紙	28.6 × 23.6
清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.1 × 16.6
清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.6 × 18.7
清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2 × 14.4
清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.0 × 21.4
清宮質文	蝶	1963	木版・紙	24.7 × 22.2
清宮質文	夏の終り	1967	木版・紙	10.4 × 22.3
清宮質文	九月の海辺	1970	木版・紙	13.4 × 23.4
清宮質文	歳月	1970	木版・紙	18.3 × 25.8
清宮質文	夕日に (入日の空に)	1970 年代	水彩・紙	12.9 × 10.6
清宮質文	北辺の小屋	1971	ガラス絵	15.6 × 21.4
清宮質文	窓のランタン	1972	木版・紙	24.4 × 14.2
清宮質文	深夜の蠟燭	1974	木版・紙	17.8 × 15.1
清宮質文	星占 (去りゆく凶星)	1975	木版・紙	15.2 × 17.9
清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.0 × 14.3
清宮質文	作品	1981	水彩・紙	9.8 × 16.1
清宮質文	われむかしの日にしえの年をおもえり	1982	木版・紙	15.1 × 13.0
清宮質文	黒夜の鳥	1982	木版・紙	13.9 × 17.5
清宮質文	夢の中へ	1983	木版・紙	15.7 × 6.9
清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	21.2 × 16.2
清宮質文	秋の午後	1985	木版・紙	11.0 × 23.4
清宮質文	なんじの革囊にわが涙を	1985	木版・紙	17.8 × 16.8
清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.9 × 16.0
清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.9 × 16.0

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横/高さ×幅×奥行き cm)
清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.8 × 7.0
清宮質文	月と運河 (試作)	1987	木版・紙	16.3 × 16.5
清宮質文	冬の夕 (絶筆)	1991	ガラス絵	12.3 × 16.2
中平四郎	讀賣	1924	木彫	60.0 × 34.0 × 25.0
長重之	視床～青	1995	木、布、アクリル	100.0 × 162.0 × 7.0
長重之	視床	2010	水彩、コラージュ・紙	92.5 × 116.0
山口啓介	花の心臓 / 炭素原子モデル	2003	顔料、樹脂、自家製樹脂、アクリル・カンヴァス	270.0 × 181.0
山口啓介	花の心臓 / 蕊柱	2003	油彩・カンヴァス	270.0 × 181.0
大森暁生	Swan in the frame (Type-A)	2006	檜、漆、彩色、ステンレス、アガチス、銅	70.0 × 130.0 × 67.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 1	不詳	樹皮、木、イノシシの骨	130.0 × 146.0 × 6.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 4	不詳	樹皮、木	110.0 × 147.0 × 15.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 5	不詳	樹皮、木	135.0 × 65.0 × 7.0
スタン・アンダソン	犬の散歩道－暮坂高原古道再生プロジェクト (部分)	2015	樹皮	180.0 × 290.0 × 25.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 (六合の地図)	不詳	樹皮	× ×
スタン・アンダソン	立体作品	不詳	樹皮、木、動物の骨	186.0 × 136.0 × 100.0
スタン・アンダソン	動物の絵柄の紙漉き作品 14 点	不詳	樹皮、貝殻	直径約 30 cm
スタン・アンダソン	ドローイング 1	不詳	パステル・紙	54.0 × 40.0 ×
スタン・アンダソン	ドローイング 2	不詳	パステル・紙	54.0 × 40.0 ×
スタン・アンダソン	ドローイング 3	不詳	パステル・紙	79.0 × 109.0 ×
スタン・アンダソン	ドローイング 4	不詳	墨・紙	79.0 × 109.0 ×
スタン・アンダソン	ドローイング (11 点)	不詳	鉛筆・紙	30.0 × 23.0 ×
スタン・アンダソン	書籍 (21 冊) 鹿島茂コレクション フランス絵本 (353 件)			
渡辺香奈	The River	2012	油彩・カンヴァス	194.0 × 1042.4
掛井五郎	人間の問題研究 III 四つの足	1985	ブロンズ	100.0 × 96.0 × 30.0
岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ステンレススチール、カンヴァス、合板	183.0 × 200.0 × 398.0
三輪途道	YUUKO	1996-2004	檜、漆、膠、白土、顔料	153.0 × 48.0 × 25.0
三輪途道	野辺の王様	1998	檜、漆、膠、白土、顔料	125.0 × 32.0 × 40.0
三輪途道	温度－H.MIWA－	1999	檜、漆、膠、白土、顔料	99.0 × 57.0 × 37.0
三輪途道	縄文からの道	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	12.0 × 25.0 × 16.0
三輪途道	TOKYO-2000.1.12.Age60-	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	102.0 × 50.0 × 28.0
三輪途道	猿を待ってた日	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	23.0 × 16.5 × 23.0
三輪途道	下仁田ーおじい	2003	檜、漆、膠、顔料	79.0 × 59.0 × 64.0
三輪途道	下仁田ーおばあ	2003	檜、漆、膠、顔料	83.0 × 50.0 × 56.0
三輪途道	おじいの宝Ⅱ (金歯の位置違い)	2003	檜、漆、金箔	3.0 × 7.5 × 5.0
三輪途道	おじいの抜け殻	2003	檜、漆、膠、顔料	14.0 × 44.0 × 38.0
三輪途道	猫の抜け道	2005	檜、漆、膠、顔料	25.0 × 68.0 × 14.0
三輪途道	発電所のなめくじ	2005	檜、漆、膠、白土、顔料	4.0 × 6.0 × 14.0
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	5.0 × 8.0 × 20.0
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	6.0 × 9.0 × 28.0
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	13.0 × 10.0 × 18.0
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	13.0 × 10.0 × 18.0
三輪途道	父子像	2007	檜、漆、膠、顔料	175.0 × 42.0 × 42.0
三輪途道	乳母と私Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	90.0 × 58.0 × 71.0

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横／高さ×幅×奥行き cm）
三輪途道	父子像Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	159.0 × 99.0 × 8.0
アルブレヒト・ デューラー	書斎の聖ヒエロニムス	1514	エングレーヴィング・紙	24.4 × 18.8
アンディ・ デントラー	Sant Francesc III	2018	油彩・カンヴァス	140.0 × 120.0
アンディ・ デントラー	At a Stranger's table	2018	油彩・カンヴァス	80.0 × 70.0
アンディ・ デントラー	Woman Lying in a Corner	2018	油彩・カンヴァス	80.0 × 70.0
会田誠	トラウマンボーイ 02	2007	パネル、色鉛筆、水彩絵具、油 性マーカー・紙	36.5 × 51.5
会田誠&加藤愛	愛ちゃん盆栽（ほおずき）小料理屋にて	2008	ラムダプリント	86.8 × 125.0
梅沢和木	BLACK OMEN and CloudSBX	2020	パネルに画像を出力した光沢紙、 アクリル、油彩、カンヴァス	126.0 × 126.0
梅沢和木	Imperishable Windows	2020	パネルに画像を出力した光沢紙、 アクリル、油彩、カンヴァス	126.0 × 126.0
梅沢和木	R20	2020	パネルに画像を出力した光沢紙、 アクリル、油彩、カンヴァス	21.0 × 29.7
梅沢和木	BGS 矩形倶楽部	2019	パネルに画像、アクリル、ペン、 色鉛筆、カンヴァス	42.0 × 59.4
梅沢和木	マジスティック・ハザード	2012	パネルに画像を出力した光沢紙、 カンヴァス	72.8 × 51.5
梅沢和木	plan888	2021	紫外線硬化樹脂（StareReap 2.5 プリント）にアクリル	55.5 × 55.5
梅沢和木	perfectD	2021	紫外線硬化樹脂（StareReap 2.5 プリント）にアクリル	55.5 × 55.5
梅沢和木	Happy Material	2021	紫外線硬化樹脂（StareReap 2.5 プリント）にアクリル	55.5 × 55.5
梅沢和木	A	2021	パネルに画像を出力した光沢紙、 アクリル	126.0 × 194.0
大竹利絵子	へび	2006	木	31.0 × 21.5 × 17.0
加藤泉	無題	2000	油彩・カンヴァス	40.7 × 24.0
加藤泉	無題	2009	油彩・カンヴァス	33.3 × 24.0
加藤泉	Untitled	2017	ソフトビニール、金属	60.0 × 17.0 × 18.0
川島秀明	stare	2008	アクリル・カンヴァス	50.0 × 72.7
カンノサカン	無題	2007	ウレタン、アクリル・パネルに貼ら れたカンヴァス	30.0 × 30.0
KYNE	Untitled	2020	アクリル、ABS レジン	32.0 × 80.0 × 52.5
熊谷守一	裸	1948	油彩・板	23.8 × 33.2
コバヤシ麻衣子	You Know The Answer	2021	アクリル絵具・和紙、カンヴァス	130.3 × 130.3
コバヤシ麻衣子	そこからいる	2021	アクリル絵具・和紙、カンヴァス	145.5 × 112.0
コバヤシ麻衣子	グッドラック	2021	アクリル絵具・和紙、カンヴァス	100.0 × 65.2
コバヤシ麻衣子	Foolish honesty	2022	アクリル絵具、オイルパステル・ 和紙、カンヴァス	80.3 × 53.0
阪本トクロウ	パード	2007	アクリルガッシュ・雲肌麻紙	40.6 × 40.6
田中敦子	Work	2004	パステル・紙	33.2 × 24.3
田中敦子	作品	2001	エナメル・紙・カンヴァス	15.0 × 15.0
田中敦子	作品	2002	合成エナメル塗料・カンヴァス	60.2 × 50.1
Chim ↑ Pom	イケてる人達みたい02	2008	C-Print、DVD	31.0 × 31.0
奈良美智	Untitled	1990	アクリル・紙	49.3 × 34.2
西尾康之	stand up	1997	陰刻鋳造、ファイバープラスター	77.5 × 36.0 × 12.0
日野之彦	パーマ	2007	鉛筆・ケント紙、額装	103.5 × 72.5
日野之彦	縞の服	2008	鉛筆・紙、額装	101.6 × 50.4
日野之彦	二人は走る	2010	油彩・カンヴァス	259.1 × 193.9

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横/高さ×幅×奥行き cm)
日野之彦	見つめ合い	2011	油彩・カンヴァス	91.0 × 91.0
日野之彦	涼しい風	2018	色鉛筆、紙	43.3 × 34.2
日野之彦	曇り空	2018	色鉛筆、紙	50.4 × 66.7
町田久美	ひとり	2003	墨・雲肌麻紙	130.0 × 97.0
松井冬子	同世代のエジプト人	2007	ドローイング、額装	43.7 × 36.7
松井冬子	トメス 4 世	2007	ドローイング、額装	36.2 × 44.1
ロッカクアヤコ	Untitled	2014	アクリル・段ボール	63.0 × 63.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2016	アクリル・段ボール	53.0 × 40.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2017	アクリル・カンヴァス	80.0 × 80.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2017	アクリル・カンヴァス	140.0 × 100.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2018	アクリル・スーツケース	47.0 × 71.0 × 18.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2019	アクリル・カンヴァス	100.0 × 100.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2021	陶器	39.0 × 13.8 × 28.7
西村盛雄	甘露の雨 マナ 9	2002	木	37.0 × 220.0 220.0
勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0 × 184.0 57.0
勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0 × 65.0 54.0
勅使河原蒼風	クビ	1962	木	129.5 × 62.5 × 30.0
勅使河原蒼風	わかれ	1963	鉄	120.0 × 33.0 × 32.5
勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5 × 64.5 × 50.0
勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0 × 49.0 × 25.0
勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0 × 53.0 × 48.0
坂本幸重	鮭	2003	紙本着色・額装	60.0 × 100.0
林茂樹	00-XVIII	2017	磁器	40.0 × 80.0 × 38.0
長重之	笑い続ける二つの州の間で	1990	断熱材、布、木、アクリル	242.0 × 170.0 × 11.5
長重之	笑い続ける二つの州の間で	1990	断熱材、布、木、アクリル	200.0 × 146.0 × 11.5
ボスコ・ソディ	Untitled	2016	ミクストメディア・カンヴァス	200.0 × 200.0

#### 4. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名 (* 寄託作品)	貸出先	展覧会名	会場・会期
フランソワ・ポンボン	D 氏像	京都市京セラ美術館	動物を愛した彫刻家 フランソワ・ポンボン展	京都市京セラ美術館 R3.7.10-R3.9.5
	ポール像	名古屋市美術館		名古屋市美術館 R3.9.18-R3.11.14
	ベルト・ポンボン	佐倉市立美術館		群馬県立館林美術館 R3.11.23-R4.1.26
	サント・カトリーヌ	山梨県立美術館		佐倉市立美術館 2.3-3.29
	コゼット			山梨県立美術館 4.16-6.12
	スカート裾をたくしあげる コルセットの女性			
	ブーヴルイユの教会			
	ほろほろ鳥の頭			
	雨の中を駆け回る雄鶏			
	七面鳥			
	七面鳥			
	二羽の雌雉			
	2つの姿勢の雌雄			
	風見鶏			
	仔牛			
	狼の頭			
	仔鹿			
	水上で胸を張る鴨			
	カイエンヌの雌鶏			
	アヒル			
	風見鶏			
	七面鳥			
	鷺鳥			
	羽をむしられて駆け回る雄鶏			
	羽をむしられて駆け回る雄鶏			
	羽をむしられて駆け回る雄鶏			
	ほろほろ鳥			
	牝豚			
	眼の突き出たフクロウ			
	フクロウ			
	ラクダ			
	カバ			
	立って頭を下げているインド の牝鹿			
大鹿				
オラン・ウータン (頭部)				
ライオン「メネリク」				
ヒグマ				
ヒグマ				
ヒグマ				
シロクマ				
シロクマ				

作者名	作品名 (* 寄託作品)	貸出先	展覧会名	会場・会期
	シロクマ			
	バン			
	紅ヨーロッパやまうずら			
	戯れる豹			
	斑点のある豹			
	黒豹			
	黒豹			
	大黒豹			
	雉鳩			
	雉鳩			
	眠っている雄鶏			
	猪			
	クロード・レイ			
	アンリ・デシャン			
	コンドル			
	鳩「ニコラ」			
	切断された巢の雌鳩			
	アンリ・マルティネ《フランソワ・ボンポンの頭像》			
	ボンボンと鳩ニコラ			
	ボンボン旧蔵 絵はがきアルバム			
	「現代動物芸術家展 / フランソワ・ボンボン展とアトリエ再構成」ポスター			
	「ブロンズ動物彫刻家の1世紀 - 1875年から1975年まで -」展ポスター			
	「動物 - ラスコからピカソまで -」展ポスター			
	「パリの現代動物図像集」展ポスター			
	「ボンボンと近代彫刻 - 自然と抽象」展ポスター			
	ロベール・レイ『フランソワ・ボンボン』			
ジョアン・ミロ	独り語る (72点組より60点) 鳥	Bunkamura ザ・ミュージアム 愛知県美術館 富山県美術館	ミロ展 日本を夢みて	Bunkamura ザ・ミュージアム 2.11-4.17  愛知県美術館 4.29-7.3  富山県美術館 4.7.16-9.4
(バンジャマン・ラビエ)	ボン・マルシェのアジャンダ (備忘録) *	千代田区立日比谷図書文化館	鹿島茂コレクション 『稀書探訪』の旅	千代田区立日比谷図書文化館 5.20-7.17
モーリス・ブテ・ド・モンヴェル	『グザヴィエール』*			
モーリス・ブテ・ド・モンヴェル他	『サン・ニコラ』*			
(バンジャマン・ラビエ)	『ジュネス・イリュストレ』*			

作者名	作品名 (* 寄託作品)	貸出先	展覧会名	会場・会期
モーリス・ブテ・ド・モンヴェル	『ジャンヌ・ダルク』*			
ギユスターヴ・ドレ	『ペロー童話集』*			
エミール・バヤール	『家なき子』*			
ジャン・ド・ブリュノフ	『ぞうのババール』*			
ギユスターヴ・ドレ	『ラ・フォンテーヌの寓話』* 『スメーヌ・ド・シュゼット』*			
アレクサンドル・ド・サイエ	『子どもたちの自画像、あるいは生徒たちに与えられた作文のテーマ』*			
アレクサンドル・ド・サイエ	『子どもたちの自画像—少女たちの職業別性格とその素顔』*			
アントワーヌ・ボレル	『ラミ・デ・ザンファン (子ども友)』*			
エドゥアール・リウ、アルフォンス・ド・ヌヴィル	『海底二万里』*			
ロレンツ・フルリック	『リリちゃんの日』*			
バンジャマン・ラビエ	『ラ・フォンテーヌの寓話』*			
モーリス・ブテ・ド・モンヴェル	『子どもの正しい礼儀作法』*			
アンドレ・エレ	『おもちゃ箱』*			
ロレンツ・フルリック	『月の光に』*			
バンジャマン・ラビエ	『アゾールとミスティグリ』*			
アンドレ・エレ	『大きな動物、小さな動物』*			
アンドレ・エレ	『ノアの箱舟』*			
渡辺香奈	The River!*	笠間日動美術館	絵の中のワンダーランド	笠間日動美術館 7.16-9.25
トマス・ビューイック	『四足獣概説』	群馬県立近代美術館	理想の書物 —英国 19 世紀挿絵本から イヴェート・プレスの世界へ—	群馬県立近代美術館 9.17-11.13
トマス・ビューイック	『英国鳥類誌』			
ジョン・エヴァレット・ミレイ他	『詩集』(アルフレッド・テニス)			
クリステイナ・ロセッティ	『ゴブリン・マーケット』			
ローレンス・ハウスマン	『妖精の国の農場』			
パーシー・ビッシュ・シェリー	『眠り草』			
ローレンス・ハウスマン	『月光とクローバー』			



## 5. 保存・修復

作者名	作品名（* 寄託作品）	技法・材質	種別	処置内容
バリー・フラナガン	鐘の上の野兎	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング
J.-J. グランヴィル	動物たちの公私にわたる生活の情景 第2巻	木口木版・紙（書籍1冊）	版画	解装・洗浄
フランソワ・ポンボン	アンリ・デシャン	油土	彫刻	首元破損部の補修
	カバ	石膏	彫刻	欠損の補修
	サント・カトリーヌ	石膏	彫刻	欠損の補修

## B. 図書資料その他

### 令和4年度収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	126	77	31	0	0	0	234
寄贈	110	202	349	123	140	2	926
計	236	279	380	123	140	2	1160

# 施設利用状況

## A. 施設利用一覧

使用日	利用者	施設名
9.6	館林市商工課	講堂
10.22	社福施設 ぽかぽか	研修室
12.2-12.4	館林商工高等学校	講堂・研修室
1.31	館林市教育委員会	講堂
2.3	館林市商工課	講堂

## B. その他

10.10 「光と音と食の芸術祭 プロジェクションマッピングアート in 館林」(主催：館林商工会議所)

# 職員名簿

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

特別館長	佐々木正直
館長	石川哲
次長(教育普及係長)	横堀英紀

## <教育普及係>

主幹(事)	柴崎恵利
主幹(学芸員)	熊谷ゆう子
主幹(事)	橋本美紀
主任(事)	坂爪志郎
教育普及員	齋藤久美子
	羽鳥あゆみ
	竹渕典子
	齋藤菜都美
	最上雅世

## <学芸係>

補佐(学芸係長)	神尾玲子
主幹(学芸員)	松下和美
主任(学芸員)	伊藤香織
主任(学芸員)	野澤広紀
資料整理員	伊羅子典代